

空港の指定管理者評価委員会

日時： 平成 30 年 7 月 19 日（木）
10 時 00 分～11 時 00 分
場所： 都庁第二本庁舎 9 階 9 B 会議室

次 第

1 開 会

2 委員のご紹介、委員会の成立

3 委員長挨拶

4 議 事

- (1) 指定管理者の管理運営状況等の評価等について
- (2) その他

5 閉 会

【配付資料】

評価委員名簿

座席表

空港の指定管理者評価委員会設置要綱

資料1「八丈島空港の管理について」

資料2「指定管理者の評価について」

資料3「空港の指定管理者に係る評価結果（一次評価）」

資料4「空港の指定管理者に係る二次評価（案）」

参考資料 ・ 八丈島空港指定管理年度実績（平成 29 年度）

・ 指定管理者アンケート結果（平成 29 年度）

・ 経営基盤計算書

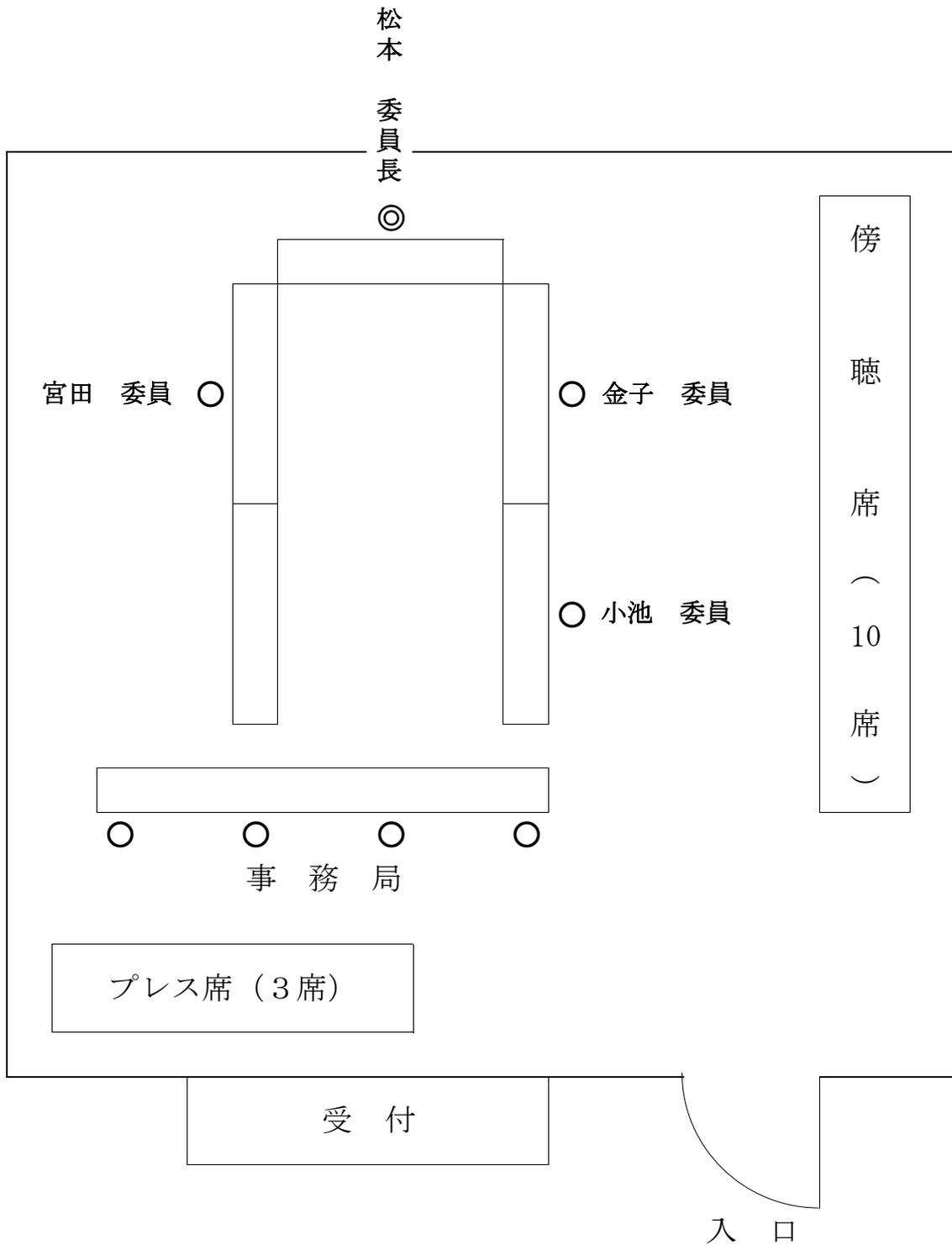
空港の指定管理者評価委員会 委員名簿

氏 名	職 名 等	備 考
金子 邦博	公認会計士	外部委員
宮田 茂樹	一般社団法人東京諸島観光連盟専務理事	
小池 定範	全日本空輸株式会社マーケティング室 ネットワーク部部長代理	
◎ 松本 達也	東京都港湾局島しょ・小笠原空港整備担当部長	内部委員
村瀬 正能	東京都八丈支庁総務課長	

◎ 委員長

空港の指定管理者評価委員会

座席表



空港の指定管理者評価委員会設置要綱

制定 平成29年5月31日付29港島管第80号

(設置)

第1 東京都営空港条例(昭和37年東京都条例第53号。以下「条例」という。)
第16条第2項の規定に基づき、条例第2条に規定する空港の指定管理者として指定を受けた者(以下「指定管理者」という。)が実施した施設の管理運営状況等を東京都港湾局長(以下「局長」という。)が評価するため、空港の指定管理者管理運営状況等の評価委員会(以下「評価委員会」という。)を設置する。

(所掌事項)

第2 評価委員会の所掌事項は、次に掲げるものとする。

- (1) 条例、東京都営空港条例施行規則(昭和37年東京都規則第76号)その他の規程、空港指定管理者選定要項、空港の管理運営基準及び空港の管理に関する基本協定等に基づく、指定管理者が実施した施設の管理運営状況等の評価
- (2) 特命要件の状況の継続に関して評価委員会に付議された事項
- (3) 前各号に掲げるもののほか、評価を行うに当たり必要な事項

(組織)

第3 評価委員会は、次に掲げるもののうち、局長が委嘱する委員5名により組織する。

- (1) 東京都港湾局島しょ・小笠原空港整備担当部長(以下「島しょ・小笠原空港整備担当部長」という。)
- (2) 東京都八丈支庁総務課長
- (3) 公認会計士(1名)
- (4) 学識経験者(2名)

2 委員長は、島しょ・小笠原空港整備担当部長をもって充てる。

(委員長の職務及び代理)

第4 委員長は、評価委員会を代表し、会務を総理する。

2 委員長に事故があるときは、東京都八丈支庁総務課長がその職務を代理する。

(任期)

第5 委員の任期は、局長から委嘱を受けた日から当該委嘱に係る指定管理者の評価について港湾局が公表する日までとする。

(評価委員会)

第6 評価委員会は、委員長が招集する。

2 評価委員会は、委員の過半数の出席により成立する。

3 評価委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

4 評価委員会は、非公開の根拠が、個人のプライバシー保護、企業秘密保護及び法令等による公開禁止である場合を除き、原則公開とする。

(守秘義務)

第7 委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、また同様とする。

(庶務)

第8 評価委員会の庶務は、東京都港湾局離島港湾部管理課において行う。

(その他)

第9 この要綱に定めるもののほか、評価委員会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、平成29年5月31日から施行する。

八丈島空港の管理について

資料 1

1 概要

- 東京都営空港条例を、平成27年3月に一部改正し、平成28年4月より指定管理者制度を導入した。指定管理者制度導入以前は八丈島空港の管理・運営は、都の職員により直営で行ってきた。
- 指定管理者：八丈島空港ターミナルビル株式会社（以下「HAT」とする。）（特命）
- 指定の期間：平成28年4月1日から平成33年3月31日まで（5年間）

2 指定管理者の業務

- 空港の運営管理（企画調整、利用指導、案内、警備、苦情対応、安全管理業務、利用者満足度調査、利用促進活動、禁止行為に対する注意・指導等）
- 広報（ホームページ、リーフレット作成、メディアへの情報発信等）
- 空港施設の維持管理（空港土木、空港土木施設の付帯施設、航空灯火、空港内の管理施設、駐車場施設、緑地管理、安全の確保、清掃、施設保守点検、設備等法定点検、維持補修、安全衛生管理、光熱水費支出等）
- 空港の法的管理（使用許可・空港使用届出及び空港使用許可申請の受付業務・使用料の徴収事務等に限る。）
- 災害時・緊急時対応（待機連絡体制確保、避難誘導、被害調査・報告、応急措置等）
- 事故対応（関係機関への報告、被害者対応等）

3 八丈島空港について

- 八丈島空港は、八丈島の航空輸送を確保し、もって島民の生活安定、産業の振興等に資することを目的として、昭和37年5月に最初の都営空港として供用開始している。
- 八丈島空港は、八丈島の中央部に位置し、八丈島と本土を結んでいる空港であり、船舶に比べて航空機による渡航が多く、島の玄関口として大きな役割を果たしている。
- 昭和57年4月に伊豆諸島で最初にジェット化した空港であり、現在、東京国際空港（羽田空港）との間に、1日3便ジェット機が就航している。また、八丈島空港は青ヶ島、御蔵島、三宅島、大島、利島を結ぶヘリコプター「愛らんどシャトル」の拠点となっている。
- 空港ターミナルビルはHATの所有であり、空港管理事務所としてこのビルの一部を都が借用している（土地は東京都所有でHATに使用許可している。）。

○定期便使用実績

	就航便数	旅客人数(人)	貨物量(kg)
平成26年	1,021	174,683	1,244,914
平成27年	993	171,913	1,126,642
平成28年	1,016	179,987	1,084,267
平成29年	1,009	191,681	1,067,679

4 特命理由

- 当該施設は東京の南方海上約290kmに位置する八丈町にあり、地理的に事業者の参入機会が限定される地域にある。
- 当該施設には、HATが八丈島空港ターミナルビルを設置し運営しており、地元空港の拠点ターミナルとしての機能を有し、当該施設として一体的なものとなっている。
- 八丈島と本土との空の玄関口として日々利用され、島民にとって、航空路は本土との中心的公共交通機関となっていることから、島民との調整が重要となっている。また、当該施設を利用している航空事業者等との調整、総合協力等も重要であり、それらの対応を効果的・効率的に処理する必要がある。これを実現するのは、当該施設の利用調整や安全管理、施設の維持管理に十分な実績とノウハウをもっているHAT以外にはいない。

5 HATについて

- 所 在：東京都八丈島八丈町大賀郷2839-2
- 設 立：昭和55年7月24日
- 資 本 金：3億円
- 事業内容：貸室賃貸業、航空機・航空旅客・航空貨物等の地上取扱業務、空港管理業務、レストラン業、その他附帯事業
- 社 員 数：53名（平成30年3月現在）



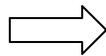
空港施設の概要

種 類	地方管理空港	
施設概要	告示面積	763,241㎡
	滑走路	2,000m×45m
	着陸帯	2,120m×150m
	誘導路長	85m×23m
	エプロン	15,300㎡

指定管理者の評価について

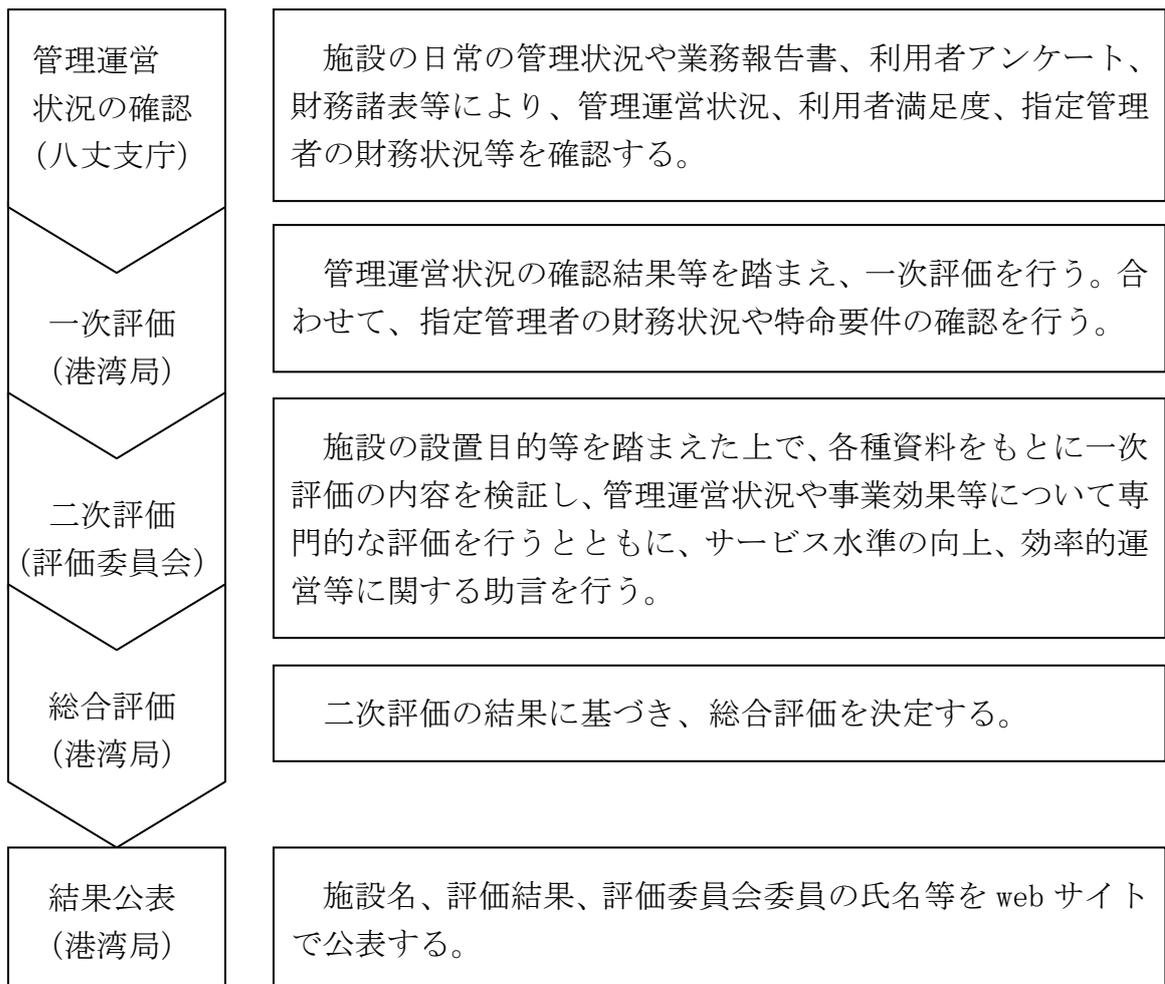
評価の目的

- 協定記載業務の履行、指定管理者が守るべき事項の遵守を確認
- サービス実施状況、利用者満足度等をチェックし、管理運営業務に反映



利用者サービスの一層の向上
施設運営の継続的な改善

評価の流れ



空港の指定管理者に係る評価結果(一次評価)

資料3

大項目	中項目	確認項目				
管理状況	適切な管理の履行	協定や事業計画に沿って適切に管理が行われているか	配点	水準を上回る 2点	水準どおり 1点	水準を下回る 0点
		人員配置(配置数、配置箇所、専門性等)	×1		○	
		人材育成の取組(専門性向上、接客向上等)	×1		○	
		施設の使用許可等(適正な手続き処理)	×1		○	
		場内管理(緑地管理等)	×1		○	
		施設管理(空港土木施設、航空灯火、空港内設備等)	×1		○	
		運用管理(運用業務、空港警備、鳥獣防除、駐車場等)	×1	○		
		施設の清掃	×1		○	
	【評価の内容】 年間事業計画に沿って適切に管理が行われている。 また、運用管理の鳥獣防除において新たな対策を検討・実施し鳥衝突件数減少に向け、積極的な取り組みを実施した。					
	安全性の確保	施設の安全性は確保されているか	配点	水準を上回る 2点	水準どおり 1点	水準を下回る 0点
		防災への配慮(安全管理活動を含む)	×1		○	
		防犯への配慮	×1		○	
		緊急時対策(航空機不法等対策、救急患者ヘリ時間外対応を含む)	×1		○	
		施設・設備管理に関する書類等の整理	×1		○	
		事故への対応	×1		○	
	【評価の内容】 管理瑕疵による事故はなく、緊急時対策に係る情報収集、訓練なども適宜実施し、安全性を確保している。					
	法令等の遵守	個人情報保護、報告等は適切に行われているか	配点	水準を上回る 2点	水準どおり 1点	水準を下回る 0点
		個人情報保護の取組(内部規定の策定、研修等)	×1		○	
		情報公開の取組(都への協力)	×1		○	
		各種法令等の遵守	×1		○	
利用記録等各種情報の管理		×1		○		
情報事故への対応		×1		○		
【評価の内容】 個人情報保護の取扱い、管理、適正管理のための研修等を実施し法令等を遵守している。						
適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか	配点	水準を上回る 2点	水準どおり 1点	水準を下回る 0点	
	収支状況	×1		○		
	経理処理	×1		○		
	都有財産等(物品・現金等)の管理	×1		○		
	経理・現金に関する書類等の管理	×1		○		
【評価の内容】 現金の取扱いや貸与物品について、適切な処理および管理をしている。						
事業効果	事業の取組	事業計画どおりのサービスが提供されているか	配点	水準を上回る 2点	水準どおり 1点	水準を下回る 0点
		利用者サービス向上に向けた取組	×2		○	
		利用促進への取組(広報、PR等)	×2		○	
	【評価の内容】 制限区域内見学会や空の日イベントを主催し、利用促進への取組みを積極的に行った。					
	利用の状況	事業計画どおりの利用状況となっているか	配点	水準を上回る 2点	水準どおり 1点	水準を下回る 0点
		利用件数(環境の変化など外部要因を考慮)	×2		○	
	【評価の内容】 事業計画どおりの利用状況となっている。					
	利用者の反応	利用者の満足を得られているか。	配点	水準を上回る 2点	水準どおり 1点	水準を下回る 0点
		職員の接客対応	×2	○		
		施設設備の状況	×2	○		
利用条件		×2	○			
【評価の内容】 アンケートの接客対応項目(電話対応・窓口対応・徴収事務対応・全体の満足度)において、5段階評価で4以上の回答が非常に多かった。						
行政目的の達成	行政と連携を図り施設の目的を達成しているか。	配点	水準を上回る 2点	水準どおり 1点	水準を下回る 0点	
	施設の目的達成(関係機関との連携)	×2		○		
【評価の内容】 関係機関と連携を図り、円滑に業務を遂行した。						

特記事項	特になし。
要改善事項等	特になし。

【一次評価結果】

評 点	標準点	評価基準				一次評価結果	得 点	A
		S	A+	A	B			
	35点	47点以上	44点以上 46点以下	31点以上 43点以下	30点以下	42点		

【確認事項】

指定管理者の財務状況	指定管理者の平成29年度の財務諸表により、組織運営の健全性が確保され、事業継続に支障がないことを確認した。
特命要件の継続	<p>(1) 指定管理者による管理の対象となる施設は、東京の南方海上約290kmに位置する八丈町にあり、地理的に事業者の参入機会が限定される地域である。</p> <p>(2) 当該施設は、専門的な知識が必要となる空港の運用・保安対策等に加え、航空機が安全運航するための管理運営が必須であるという特殊性があり、また、八丈島と本土を結ぶ空港としての機能を損なわず適切に施設を管理するためには、当該施設に八丈島空港ターミナルを昭和57年に設置し、業務を行ってきている八丈島空港ターミナルビル株式会社(以下「HAT」という。)に指定することが最適である。</p> <p>(3) HATは、当該施設の安全及び維持の管理に十分な実績と空港管理・運用業務のノウハウを持ち、航空事業者等との利用調整の経験を有し、また、空港の保安対策ではこれまで東京都と協力し対応を図ってきている。</p> <p>以上、3つの特命要件について継続していることを確認した。</p>

空港の指定管理者に係る二次評価（案）

○施設名：東京都八丈島空港

○指定管理者名：八丈島空港ターミナルビル株式会社
（以下「HAT」という。）（特命）

○指定期間：平成28年4月1日から平成33年3月31日まで

○平成29年度評価結果：下表のとおり

項目	評価内容
二次評価	A
管理状況	<ul style="list-style-type: none">・年間事業計画のとおり実施されており、適切に管理が行われている。特に、鳥獣防止対策について創意工夫が見られる。・個人情報保護の取扱い、管理、適正管理のための研修等を適切に実施している。・現金の取扱いや貸与物品について、適切な処理及び管理・使用をしている。
事業効果	<ul style="list-style-type: none">・ホームページを活用した空港の情報発信を行い、空の日イベント・空港見学会などの取組を積極的に行った。・利用者のアンケートについて、昨年度と比較して施設設備の状況・利用条件において、高評価となった。・関係機関と連携を図り、円滑に業務を遂行した。

空港の指定管理者評価委員会

(参考資料)

*****目次*****

	ページ
○八丈島空港指定管理年度実績（平成29年度）	
・人員配置 計画、実績	2
・年度収支決算	3
・年度実績報告	5
・自主事業実績	17
○指定管理者アンケート結果（平成29年度）	40
○経営基盤計算書	41

〔一部抜粋〕

平成 29 年度 八丈島空港指定管理年度実績

内容

- ・人員配置 計画、実績
- ・年度収支決算
- ・委託費（維持管理経費）内訳
- ・年度実績報告書
- ・直営作業詳細
- ・自主事業実績一覧
- ・自主事業詳細
- ・空の日詳細

指定管理者

八丈島空港ターミナルビル株式会社

人員配置 計画、実績
施設別内訳<八丈島空港管理事務所>

1/1 枚

【計画】

	管理組織		役職	担当業務内容 (具体的に)	能力、資格、実務経験 年数等	雇用形態			一週間の 勤務時間	備考
	八丈島空港	本社等				常勤	非常勤	その他		
1		○	執行役員 総括サビス部長	総括責任者	ビル管理者、乙4種危険物、衛生管理者、乗組乙種、対仏講習、防火管理者(その他空港ハドリング業務経験3年)	○			10	
2		○	空港管理課長	空港管理責任者	(その他空港ハドリング業務経験23年) 第3種以上特殊無線、航空特殊無線、対仏講習、7ホーク 車両：大型、大型特殊、牽引	○			25	
3	○		所長(管理職)	業務全般の責任者	空港運用管理Ⅰ・Ⅱ、灯火管理Ⅰ受検、実務経験7年(その他空港ハドリング業務経験17年)、対仏講習 車両：大型	○			40	
4	○		所長代理(管理職補佐)	業務全般の責任者補助 電気関係副担当	空港運用管理Ⅰ受検、灯火管理Ⅰ受検、電気工事士 2種、電気主任技術者3種、乙4種危険物、実務経験2年	○			40	
5	○		所長代理(管理職補佐)	業務全般の責任者補助 電気関係主担当	空港運用管理Ⅰ・Ⅱ、灯火管理Ⅰ・Ⅱ受検、電気工事士1 種、実務経験2.5年	○			40	
6	○			業務全般 主担当	空港運用管理Ⅰ・Ⅱ受検、実務経験7年(その他空港ハド リング業務経験20年)、対仏講習、車両：大型	○			40	
7	○			業務全般	空港運用管理Ⅱ受検、実務経験2.5年(その他空港ハド リング業務経験24年)	○			40	
8	○			業務全般	空港運用管理Ⅰ・Ⅱ受検、実務経験2年(その他空港ハド リング業務経験0.5年)	○			40	
9	○			業務全般	空港運用管理Ⅱ受検、灯火管理Ⅰ受検、実務経験13年 (都職員06採用)	○			40	
10	○			業務全般	空港運用管理Ⅰ受検、実務経験5年(都職員06採用)	○			40	

【29年度配置】

	管理組織		役職	担当業務内容 (具体的に)	能力、資格、実務経験 年数等	雇用形態			一週間の 勤務時間	備考
	八丈島空港	本社等				常勤	非常勤	その他		
1		○	執行役員 総括サビス部長	総括責任者	ビル管理者、乙4種危険物、衛生管理者、乗組乙種、 対仏講習、防火管理者(その他空港ハドリング業務経験3 年)	○			10	
2		○	空港管理課長	空港管理責任者	空港運用管理研修Ⅱ受検(その他空港ハドリング業務経験 23年) 第3種以上特殊無線、航空特殊無線、対仏講習、7ホーク 車両：大型、大型特殊、牽引	○			25	
3	○		所長(管理職)	業務全般の責任者	空港運用管理Ⅰ・Ⅱ、灯火管理Ⅰ受検、実務経験8年(そ の他空港ハドリング業務経験17年)、対仏講習 車両：大型	○			40	
4	○		所長代理(管理職補佐)	業務全般の責任者補助 電気関係副担当	空港運用管理Ⅰ受検、灯火管理Ⅰ・Ⅱ受検、電気工事士 2種、電気主任技術者3種、乙4種危険物、実務経験2年	○			40	
5	○		所長代理(管理職補佐)	業務全般の責任者補助 電気関係主担当	空港運用管理Ⅰ・Ⅱ、灯火管理Ⅰ・Ⅱ受検、電気工事士1 種、実務経験3.5年	○			40	
6	○			業務全般 主担当	空港運用管理Ⅰ・Ⅱ受検、実務経験8年(その他空港ハド リング業務経験20年)、対仏講習、車両：大型	○			40	
7	○			業務全般	空港運用管理Ⅰ・Ⅱ受検、実務経験3年(その他空港ハド リング業務経験0.5年)	○			40	
8	○			業務全般	実務経験1年	○			40	
9	○			業務全般	空港運用管理Ⅱ受検、灯火管理Ⅰ受検、実務経験14年 (都職員06採用)	○			40	
10	○			業務全般	空港運用管理Ⅰ受検、実務経験7年(都職員06採用)	○			40	

平成29年度 八丈島空港管理事務所 収支決算報告

(単位：円)

	項目	主な用途	計画額	実績額	摘要	
収入	収入合計		153,280,080	153,280,080		
	都委託料		153,280,080	153,280,080	東京都委託料	
	利用料金収入		0	0		
支出	人件費	現場に配置される職員等の経費(給与、法定福利費、福利厚生費、退職引当金など)	44,580,000	47,842,000		
	常勤職員		44,580,000	47,842,000		
	非常勤職員	パート、アルバイトなど	0	0		
	その他	派遣職員など	0	0		
	事業費	管理運営を行っていくための直接的経費	85,370,000	84,546,217		
	光熱水費	電気・水道・燃料費	6,020,000	5,333,290		
	消耗品費等	事務消耗品、備品、施設修繕費、被服費など	1,670,000	2,479,506		
	役務費等	自動車任意保険、通信費、リース費など	2,930,000	2,216,784		
	委託費	維持管理経費		72,800,000	72,672,000	
		緊急対応等経費		1,300,000	1,300,000	
	その他経費	空港運用管理研修、鳥獣防止対策費、車検(1台分)、工具など	650,000	544,637		
	間接費		11,976,000	14,017,000		
	小計		141,926,000	146,405,217		
	収支差額(税抜)			0	△ 4,479,217	
総額	消費税		11,354,080	6,763,697		
	支払合計		153,280,080	153,168,814		

八丈島空港管理事務所

委託費(維持管理経費)積算内訳書(29年度)

税抜き(単位:千円)

分類		作業の種類		計画額	実績額
緑地管理	緑地管理	除草		37,000	36,500
		草刈			
		芝生手入			
		空港用地除草		0	262
		緑地管理その2		0	1,732
小 計				37,000	38,494
施設管理	建築物	管理事務所ほか	清掃	500	480
	設備管理	航空灯火等の維持管理業務	施設点検作業	30,000	28,300
		灯火監視制御設備維持管理	保守点検	2,500	2,100
		受変電設備維持管理	保守点検	2,000	2,350
		自家発電設備維持管理	保守点検	500	600
		地下タンク設備維持管理	保守点検	100	110
浄化槽点検管理	清掃、保守点検、法定点検	200	238		
小 計				35,800	34,178
合 計				72,800	72,672

※委託費(維持管理経費)積算内訳は外注する委託作業のみ経費金額を記入すること。
委託しない場合は金額を0とすること。

平成30年3月31日

平成29年度 年間作業実施計画・実績書

別記第2号様式

空港名 東京都八丈島空港

指定管理者名 八丈島空港ターミナルビル株式会社
代表者 代表取締役社長 石山 明久

大分類	小分類	業務内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備 考		
境内管理	緑地管理	準備工、除片付け	計画	準備工											片付け		
		航空灯火敷地、樹木下、増設橋下草	計画		除草・草刈					除草・草刈					実施		
		法面、雑草帯	計画		実施					草刈		実施					
		芝生手入れ	計画			手入れ		手入れ					手入れ		手入れ	都仕様書では「3回以上」だが4回実施とする	
		その他草刈、障害灯通路草刈	計画									草刈			その他草刈		
		管理事務所、消防本部・トイレ清掃	計画	清掃	隔日清掃150日、定期清掃12日												
施設管理	灯火管理	浄化槽点検管理	計画		点検				点検			点検		点検	点検		
		航空灯火維持管理業務	計画	点検日報確認													
		灯火監視装置維持管理	計画	契約準備								点検					
		防災電気設備維持管理	計画	契約準備								点検					
		自家発電設備維持管理	計画	契約準備													
		地下タンク設備維持管理	計画	契約準備											点検		
運営管理	空港の管理運営	空港保安対策	計画	点検		点検		点検		点検		訓練	点検	訓練	点検	立入禁止欄点検(満数月) 11月消火試験12月不法侵入1月不法侵入	
		空港要領	計画	毎日ロビ-内巡回													
		鳥獣防除対策	計画	バードスイープ	定期便着降後バードスイープ実施 鳥衝突防止連絡協議会 年2回												
		駐車場管理	計画	点検	駐車場定期点検(毎月) 駐車場管理4/29-5/7&8-10/12/29-1/3												
		申請書事務手続き	計画	都度受付													
		エプロン運用・安全対策	計画	実施	安全管理委員会(毎月) 空港委員会(3ヶ月毎)												
		使用料徴収	計画	都度徴収	定期便運行会社等一括納入先は毎月兼計支庁港湾課へ報告												

* 分類や作業の種類は、適宜修正のこと
 計画は、青の実線で記入し、実施は赤の実線で記入のこと
 計画を変更する時は、変更前の計画を青の破線で表示し、変更後の計画を青の実線で記入すること
 作業内容等で説明の要するものは、備考欄または別紙により説明すること

指定管理業務年次実績報告書
(平成 29 年度分)

平成 30 年 3 月 31 日

東京都知事 小池 百合子 様

所在地 東京都八丈島八丈町大賀郷 2839 番地 2
 名 称 八丈島空港ターミナルビル株式会社
 代表取締役社長 石山 明久 印

平成 29 年 4 月 1 日付で締結した八丈島空港の管理に関する基本協定書に基づく平成 29 年度の空港管理運営に関する受託事務を下記のとおり実施したので報告します。

記

1. 空港土木施設等の維持管理業務

(1) 巡回業務

実施実績

点検項目	年間実績	実施内容
滑走路等の巡回業務	定時巡回	通年 (毎日 3 回)
	臨時巡回	49 回
立入禁止柵、トンネル等巡回	定時巡回	通年 (毎朝 1 回)
	臨時巡回	7 回 ※
立入禁止柵定期点検	定期点検	6 回 (2 ヶ月毎)
飛行場定期点検		24 回 (毎月 2 回)

※ 11/1～11/7 アメリカ合衆国トランプ大統領来日に伴い、警備強化のため立入禁止柵、及び駐車場の巡回を毎日 1 回追加実施。

巡回車両走行距離

使用区分	車両 No.	年間走行距離
空港制限区域内	品川 400 め 34-68	11,747 km
	品川 400 す 81-01	6,830 km
空港駐車場、及び場外	品川 480 く 40-82	5,472 km

その他報告することが適当と考えられる事項

・滑走路巡回時に、滑走路面温度調査実施 H29.8.7～ 継続中

午後の定時巡回時に毎日 1 回計測(滑走路上の 2 点を定点計測)

航空機の方向転換時のタイヤとの摩擦により、滑走路面が抉れる事象が今年 8 月に発生した。夏期の高温によりアスファルトが柔らかくなったことが原因と考えられるため、今後対策を講じる上での検証材料とするために実施。

・地震発生後の臨時点検(灯火施設、滑走路等) 7 回

・台風後の臨時点検(灯火施設、滑走路等) 1 回

(2) 施設管理

実施実績

業務区分	委託先名称	実施期間・回数等
八丈島空港緑地管理	株式会社オーシャン	139 日間実施
	浅沼造園	2/1 ~ 2/9
航空灯火施設維持管理業務	株式会社八丈島富士電化センター	4/1 ~ 3/31
航空灯火監視制御設備点検	株式会社有電社	12/4 ~ 12/8
受変電設備精密点検	明治企業株式会社	2/28 ~ 3/1
自家発電設備精密点検	ヤンマーエネルギーシステム株式会社	1/25
地下燃料タンク点検	株式会社油水分離	2/16
清掃業務	株式会社オリバー	隔日清掃 150 回 定期清掃 12 回
浄化槽点検	株式会社佐々木住設	保守点検各 4 回又は 3 回 清掃各 1 回 法定点検各 1 回

その他報告することが適切と考えられる事項

作業区分	実施日	作業内容
緑地管理	9/26	ILS 制限区域内での除草作業のため、東京システム運用管理センターと調整の上、指定管理者立会いのもと運用時間外(早朝又は夜間)に作業実施。
	2/24	
灯火管理	5/25	運用開始時間前に滑走路末端識別灯の不点を発見、応急処置を行った。航空灯火等施設障害記録簿を作成し、報告済み。
	5/25	CCR 等機器内のケーブル接続部の温度管理のため、サーモラベルを貼付け。以後、異常発熱の監視を継続中。
	8/24	AGL W2 上部作業台のグレーチング劣化のため簡易修繕実施。
	8/29	AGL W2 の通信線断線の確認を NTT へ依頼。指定管理者 1 名立会い。
	10/11	PAPI 検視台 1 本破損あり(経年劣化)。復旧し、周囲コンクリートの補強実施。
	2/23	滑走路末端識別灯の機器内部へ乾燥剤を設置 ※ 平成 29 年度航空灯火定期検査での助言事項への対応
	3/27	CCR 予備機 (No.1、No.2) の遠隔操作による切換え制御不具合が発生したため、直接操作による切替え手順を指定管理者・委託業者にて確認。

(3) 直営作業 実施実績

作業区分	実施日	作業内容	
施設修繕	立入禁止柵	11/19	空港消防所裏の立入禁止柵下侵入防止策実施。(29-014)
	その他施設	4/29	エプロンのアースリング、タイダウンリング清掃。(29-002)
		5/9	空港消防所前側溝へ侵入防止のためのグレーチング設置。(29-004)
		6/13	場周道路一時停止箇所へ「止まれ」、段差手前へ「段差注意」の路面標示敷設。(29-006) ※ 平成 28 年度定期空港検査での助言事項への対応
		7/22~28、 8/17	駐車場繁忙期対策として以下の施設改善を実施。(29-011) ①空港ターミナルビル正面の 3 列縦列駐車スペースへ、短時間駐車専用である旨の注意看板設置 ②ターミナルビル前モニュメント周辺の通り抜け禁止措置(看板設置) ③ホテルバスの客乗降のため、停車位置のガードパイプ 1 区間を取り外し、及び段差注意標示を敷設
		8/2	滑走路 26 末端付近のアスファルト捲れ補修。(29-010)
		10/23	台風 21 号強風による破損箇所の応急処置・修繕を実施。
		12/7	空港消防所資材庫の架線ワイヤー補修。(29-016)
		12/19	灯火施設ハンドホール枠のコンクリート破損修理。(29-017)

除草作業	場内施設	4/17 ～4/28	着陸帯カラスノエンドウ除草実施。(29-001)
		5/1	電源局舎・メンテナンスショップ周りの除草実施。(29-003)
		5/8 ～5/13	特定外来生物であるオオキンケイギクの除草実施。着陸帯作業となるため、空港運用開始前の早朝に行い、弊社社員協力のもと実施。 (オオキンケイギク伐採完了報告書)
		6/6	場周道路周り除草実施。(29-005)
		8/1 ～8/5	メンテナンスショップ横の測量実施予定地の除草実施。
	場外施設等	6/16、21	空港駐車場内 椰子の葉伐採。(29-007)
		7/10	航空障害灯 C 地点の除草及び周辺樹木伐採。(29-008)
		7/24	AGL E-5 駐車スペースの除草実施。(29-009)
		9/4	航空障害灯 A・B・F 地点入山口の樹木伐採と除草実施。(29-012)
		11/17	AGL E-5 駐車スペースの除草実施。(29-013)
		11/21	空港外管理地の除草実施。(29-015)
その他	3/2 ～3/31 (継続中)	八丈島内にてアズマヒキガエル大量発生に伴い、八丈町役場が空港内浸透池(RWY 26 末端)に設置した捕獲用罟を設置。罟にかかったアズマヒキガエルの回収・処分を指定管理者にて実施。(29-018) 3/2 町役場職員による罟設置作業へ立会い 3/5 指定管理者にて回収作業(230 匹回収) 3/12 指定管理者にて回収作業(17 匹回収) 3/20 指定管理者にて回収作業(捕獲 0 匹、卵のみ回収)	

(4) 外部委託作業 実施実績

作業区分	実施日	作業内容
緑地管理	2/1 ～2/9	空港内浸透池(RWY26 末端)、08 側場周道路周辺除草、空港駐車場ヤシの木 38 本等剪定、劣化したヤシ 2 本伐採(浅沼造園実施分)。
灯火管理	10/23	台風 21 号の強風により、進入路指示灯 RWY 08 側 W6 ケーブル断線し不点灯となり、施設運用停止ノータム発行。10/26 仮復旧させ、運用再開。
	12/18	仮復旧状態だった AGL W6 の修繕実施。作業実施に合わせ、施設一時停止ノータム発行。
	1/28	AGL W1 の修繕実施。作業実施に合わせ、施設一時停止ノータム発行。
	1/31	AGL W6 の修繕実施。作業実施に合わせ、施設一時停止ノータム発行。
	2/15	AGL W1 の避雷針更新工事実施。
	3/13	飛行場灯台改修工事実施(登柱梯子取替え、及び背かご取付け)。
浄化槽清掃 点検	10/30	電源局舎浄化槽の蓋を耐荷重の大きいものに変更(250kgf → 1,500kgf)。
	1/11	メンテナンスショップ浄化槽修繕(浄化槽 11 条検査での指摘事項へ対応)。
その他施設	12/30	空港消防所横のゲート支柱底部のコンクリートひび割れ修繕。
	2/5	管理事務所横の鉄製ゲートの車輪歪みを修繕。

2. 空港警備・鳥獣防除業務

実施実績(年度実績)

実施項目	実施回数	その他
鳥飛来状況確認	通年(毎日2回)	左記のほか、ITVカメラにて常時監視
バードスイープ	253回	煙火、鳥獣防除装置(スピーカ)を使用して実施
煙火使用本数	141本	
バードストライク数	10件発生 (衝突数 計19羽)	死骸の回収、報告書の作成、航空会社への情報提供を行った。
鳥衝突防止連絡協議会	2回(12/20、3/14)	参加機関への開催通知、当日配布資料の作成、及び開催後の議事録作成を担当
鳥衝突防止業務に関する訓練(座学)	1回	5/13 講習用資料の作成、及び講習を実施担当した ※ 別添 講習資料

その他報告することが適当と考えられる事項

・鳥獣対策として、以下の器材を購入・使用し、効果検証を行った。

器材	期間	実施内容
エアライフル(1丁)	8/1~3/31 (継続中)	鳥類の威嚇用として使用。弾は自然分解され、環境への影響がないものを使用。
超音波鳥獣撃退装置(8個)	11/1~3/31 (継続中)	滑走路周辺緑地に8箇所設置。鳥類飛来数を記録し、本装置の効果を検証。
カナブン誘引トラップ(10個)	6/16~8/15	滑走路周辺に10箇所設置し、カナブン捕獲数を記録。ウミネコ飛来との因果関係を探るためのデータ収集。

3. 駐車場の管理業務

実施実績(年度実績)

実施項目	実施回数等	実施内容
駐車場巡回	定時巡回	通年(毎日2回)
	臨時巡回	7回(11/1 ~ 11/7)
駐車場定期点検	12回(毎月1回)	八丈島空港管理業務仕様書による
駐車場交通整理	計44日	実施時期
		実施内容
		GW 4/29 ~ 5/7
		夏期 8/8 ~ 8/27
		SW 9/15 ~ 9/18
		年末年始 12/29 ~ 1/3、1/6 ~ 1/8
		年度末 3/28、3/29
ANA 便到着前後の時間帯に、原則3名にて駐車場の交通整理を実施。ビル前車道への長期停車や、出迎え・見送り専用レーンへ搭乗旅客が駐車しないよう、監視を行った。また、混雑時の駐車スペース確保も行った。		
上記期間中、交通整理と併せ以下を行い、空港駐車場の混雑緩和を図った。 ①旧 CAB 庁舎駐車場を空港ビル関係者用として借用。 ②八丈町防災無線にて、空港駐車場混雑緩和への協力依頼を放送した。		

その他報告することが適当と考えられる事項

日付	実施内容
5/27	ターミナルビル前歩道段差部分(車道との境界)で発生したお客様転倒事故を受け、再発防止のため以下の対策を行った。 ①段差部分へ白線を敷設 ※ 外部委託 ②周辺の柱へ「段差注意」の標示

11/7	10月の台風21号にてターミナルビル前の「タクシー乗り場」看板が破損したため、ステッカーにて案内標示を作成し、最寄りの柱に貼付した。
1月～3月	長期駐車車両(継続6ヶ月以上)1台に対し、期限を定めて撤去する旨の警告書を貼付け。以後、3月に所有者が移動させるまで監視を実施。
3/26	空港駐車場のターミナルビル前車道にて、お客様車両のバッテリーが上がり移動不可との通報あり。弊社社用車にてバッテリーチャージし救済。

4. 空港の運用業務

管理事務所常駐 実績

実施項目	実施日時等	内容
空港管理業務	通年(通常運用時間 8:00～18:00)	八丈島空港管理業務仕様書による

管理業務実績(年度実績)

実施項目	実施回数等	備考
時間外運用 ※	運用時間延長	29回 ANA 定期便遅れのため:13回 急患搬送のため:10回 訓練、海難救助、他:4回
	夜間臨時運用	25回 急患搬送のため:14回 海上保安庁海難救助のため:1回
立入許可	ランプパス発行件数	18件(112名)
	ビジターパス発行件数	延べ3,800人
	車両使用許可	76件(延べ136台)
制限表面管理	クレーン高さ監視	19件
	突出物件監視	4回 空港周辺建物、樹木の高さ監視
スポット予約受付	125回	民間機76、公有機49
制限区域立ち入り及び車両運転許可に係る講習会	6回(10名)	—
ノータム発行	消火能力CATダウン	14件 化学消防車3ヶ月点検等
	灯火施設停止	30件 強風予報時の養生として
	その他施設停止	0件 不具合、修繕工事など
	イベント、訓練等	6件 空の日、消火救難訓練、他
その他	火気使用許可申請	1件 —
	撮影許可申請	2件 —
	ドローン使用対応	19件 使用者から申請のあった撮影候補地ごとに、制限表面までの高度を計算し、使用者へ提供。

※ 運用時間延長:運用時間中に対応要請があり、18:00以降まで運用延長した場合

夜間臨時運用:担当社員帰宅後に、緊急で開港要請があった場合

その他、報告することが適当と考えられる事項

実施内容	回数	備考
八丈支庁港湾課と指定管理者による定例ミーティング	50回	原則毎週水曜14:30～実施。会議後、議事録作成し回覧。
管理事務所担当者による到着機へのマーシャリング	4回	空の日、都総合防災訓練、その他個人機に対して2回。個人機2機の使用者からは、他空港ではほとんど実施してもらったことがないとのことで好評を頂いた。

5. 使用料徴収業務

着陸料・停留料の徴収回数、及び徴収金額(年度実績)

航空機分類	着陸料		停留料	
	着陸回数	徴収金額	停留回数	徴収金額
ANA、及び愛ランドシヤトルの定期便・臨時便等	※ 1,794 回	20,245,497 円	6 回	33,660 円
民間機・プライベート機	90 回	1,288,920 円	46 回	69,320 円
公用機	136 回	減免	7 回	減免
歳入額合計				21,637,397 円

※ 東邦航空(株)の訓練等社内飛行、及び定期便引き返しによる着回数を含む

その他、報告することが適当と考えられる事項

2/2 都会計管理局による私人に対する徴収事務委託検査受検、指定管理者 3 名参加。

6. 空港保安対策業務

年度実績(保安委員会年間計画に基づき実施)

実施内容	実施回数	備考	
都、及び航空局からの通達文書の回覧	都度実施	管理事務所員全員へ回覧し周知済み。	
航空機事故等、緊急事態対応	0 件	該当案件なし。	
保安委員会	事務担当者会議	2 回	事務局補佐として対応。開催日程調整、資料作成、議事録作成を担当。
	保安委員会・幹事会	2 回	
	図上訓練	2 回	図上訓練 2 回目は、訓練毎に、各関連機関と個別打合せの形で実施。
	消火救難対応訓練	1 回	11/28 本訓練実施
	不法侵入事案等対応訓練	1 回	12/1 本訓練に先立ち、八丈島警察署とのリハーサル実施 12/5 本訓練実施
航空機不法奪取対応訓練	1 回	1/25 本訓練実施	
空港委員会	4 回	6/28、9/27、12/20、3/14 開催。いずれも日程調整、議事録作成を行った。	
安全管理委員会	12 回	毎月 1 回開催。いずれも資料作成、議事録作成を行った。	
安全講習会	2 回	9/27、3/14 開催。資料作成及び説明を行った。※ 別添 2 回分の配布資料	
指定管理者と灯火保守委託業者による灯火施設合同パトロール	6 回	灯火安全目標達成のための先行指標として実施、年間目標回数 6 回実施達成。	
ランプバス管理状況の自主点検	4 回	6/16、9/24、11/30、3/24 実施	
研修受講		平成 29 年度空港運用管理Ⅱ研修 1 名受講 平成 29 年度飛行場灯火管理Ⅱ研修 1 名受講	

その他、報告することが適当と考えられる事項

・3/7 ANA 機着陸時に脱落した部品の場内搜索実施。該当部品を発見・回収し、八丈支庁港湾課、及び東京 FSC の運航情報官に対し、状況報告を行った。

7. 自主事業(年度実績)

年度計画、および実績一覧を別紙「平成 29 年度 指定管理者自主事業実績一覧」に示す。

8. 参考

その他、報告すべき案件

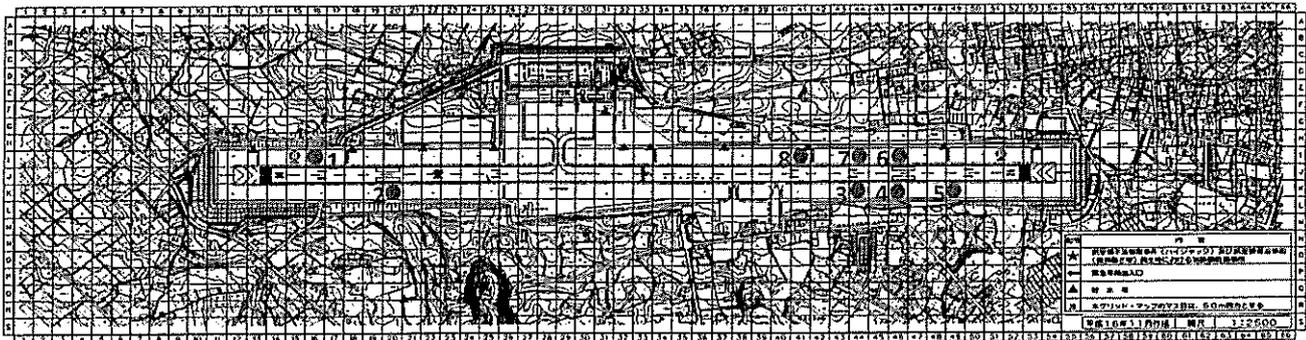
■空港運用関連	
JAXA フェアリング探査機来島についての対応	JAXA ロケット部品探査機の来島予定日時が、八丈島納涼花火大会の花火打上げ時間帯に重なっていたため、以下の通り時間調整を行った。 ①花火大会開催者(八丈町役場担当者)と打合せを実施 ②JAXA 担当者へ事情説明行い、着陸時間変更を依頼
出国済み航空機来島への対応	他空港にて出国手続き済みの航空機 4 機を、給油のため八丈島空港へ着陸させたいとの依頼あり。指定管理者より入国管理局、及び東京税関への問合せを行い、当空港にて受入れ可能である旨を確認、依頼通り 4 機就航させた。当日は、エプロン等監視のため通常より担当者増で対応した。
風船打上げイベントへの対応	島内にて風船打上げイベントを実施したいとの問合せがあり、航空運航情報官への相談、及び各航空会社への情報共有等の対応を行った。
国有財産物件調査への問合せ対応	12/27 島内国有地(3 箇所)における制限高さについて、土地管理業者より問合せあり。概要説明を行い、各地点での制限表面高さを計算し、提供した。
■施設管理・修繕	
駐車場ゴミ拾い	弊社社員の協力のもと、空港駐車場のゴミ拾い実施。 9/15、9/25、11/16、12/25、1/15、2/21、3/24
「おじゃりやれ」ステッカー貼付け	4/27 個人機ユーザ等へ歓迎の意を表す装飾として、「おじゃりやれ」の文字ステッカーを管理事務所のエプロン側ドアに貼付け。
空港貨物側入口の案内看板付替え	7/1 都道への出入口(西側)に設置した「空港貨物」の案内看板劣化のため、新規作成し付替え実施。
緑地管理業務外の除草作業	8/3 ~ 8/5 空港外都有地 6 箇所の除草作業を実施。 ※ 実施箇所:アロエ法面上部管理道路、トンネル上部高台、石橋邸横の浸透池、開善院入口三角地、富士グラウンド入口、富士グラウンド横の赤松邸前
ILS 施設損傷についての対応	8/7 ILS の航空障害灯 1 灯が破損していることを早朝巡回担当者が発見。航空局施設担当者へ情報提供を行った。
空港用地樹木剪定	8/25 空港用地の樹木の枝が隣接する町道側へ伸びていたため、剪定実施(空港前アロエ法面上部、八丈支庁港湾課職員 3 名、指定管理者 2 名にて実施)。
■都実施案件への対応	
東京都空港自主点検への立会い	八丈支庁港湾課による空港自主点検実施、指定管理者から 1 名立会い(6/28、12/20)。
東京都による内部安全監査 対応	10/5 指定管理者より、管理事務所所長・所長代理・管理責任者(計 4 名)参加。
東京都による保安教育訓練、及び SMS 研修受講	10/6 指定管理者より 5 名参加。また、当日未受講者への波及教育を実施した(空港消防所、および委託業者含む)。

東京都・八丈町・青ヶ島村合同総合防災訓練への対応	<p>4/24 関係者 72 名が来所、大型バス 2 台を制限区域へ入れエプロン周辺視察実施。指定管理者 2 名にて対応。</p> <p>9/11 指定管理者より 3 名打合せに参加。また、訓練における離着陸機のスロット調整、訓練当日の航空機移動区域一時閉鎖のノートム発行を行った。</p> <p>10/17 東京都総合防災部・物資搬送訓練担当者来所し、打合せ実施、指定管理者より 2 名参加。また、訓練告知ポスターを空港ビル到着・出発連絡橋へ掲示。</p> <p>11/5 訓練当日、航空機マーシャリング、車両入退場のためのゲート開閉等の対応を行った。</p>
年末年始安全総点検 実施状況確認	12/26 都による指定管理者に対する点検項目に沿っての確認を実施。指定管理者より 2 名同席。
東京都知事来島時のリハーサル対応	2/2 東京都知事八丈島視察時の送迎車両導線確認リハーサル実施。指定管理者から 1 名がゲート開閉対応で立会い。
エプロン周辺アスファルト舗装工事に伴う対応	3 月 各航空会社の機材置場移動指示など、調整を実施。
■工事・調査への対応	
ターミナルビル管理会社によるビルインフラ工事への対応	<p>ターミナルビルインフラ工事開始に先立ち、以下の対応を行った。</p> <p>①駐車場一部閉鎖時の運用について、ビル施設担当者、及び工事業者と調整した。</p> <p>②浄化槽設置工事期間中における急患搬送のための救急車入場手順変更について、消防・病院へ周知した。</p> <p>③駐車場工事区域閉鎖のためカラーコーンを設置した。</p> <p>④工事区域に長期駐車中の車両について、警察を通じ所有者に移動を依頼した。</p>
東京都によるエプロン健全度調査への対応	12/4 調査委託業者来所し、打合せ実施。
東京都による制限区域内法面地盤調査への対応	12/12 工事委託業者来所し、制限区域内の現場確認立会い。
東京都による滑走路及び着陸帯補修実施設計現地調査への対応	12/14 工事委託業者来所し、打合せ参加、及び制限区域内の現場確認立会い。
東京都による RESA 整備方針打合せへの対応	12/15 都離島港湾部担当者、及び工事委託業者来所し、打合せ参加、及び制限区域内の現場確認立会い。
東京都によるコンクリート構造物調査への対応	1/11 都によるコンクリート構造物調査の現場確認のため、委託業者来所。指定管理者 1 名立会い。
■監査対応	
平成 29 年度ハイジャック等防止対策監査への対応	11/30 一般財団法人空港保安事業センターによる監査実施、ヒアリングに指定管理者 2 名出席。問題なく適切に実施されており、指摘事項等なし。
航空灯火定期検査(地上検査)への対応	<p>12 月～1 月書類準備</p> <p>2/6 ～ 2/7 都が受検する航空灯火定期検査(地上検査)について、事前提出書類の作成、当日の質疑応答等、補助を行った。</p>

航空灯火定期検査(飛行検査)への対応	2/9 検査機からの指示を東京 FSC 経由で受け、指定管理者にて灯火を操作。
■視察・見学者対応	
八丈支庁赴任者研修対応	4/21 八丈支庁赴任者 25 名が来所。庁有車にて滑走路及び消防庁舎視察実施、指定管理者 2 名にて対応。
東京都港湾課計画課現場視察対応	5/19 現場視察のため 8 名来所、指定管理者 2 名にて対応。
八丈支庁長空港視察対応	8/30 岡本新支庁長空港視察のため来所。制限区域内視察に際し、指定管理者 3 名同行。
都港湾局職員空港視察への対応	9/21 滑走路等の視察に際し、指定管理者が車両運転。
和歌山県議員視察対応	12/6 和歌山県南紀白浜空港民営化計画に伴い、和歌山県議員 1 名が視察のため来所。指定管理者の業務概要説明等を行った。
八丈島内小学校空港見学受入れ	12/22 八丈町立三根小学校 6 年生(児童 5 名+教員 1 名)社会科学見学として来所。空港管理事務所の業務概要説明を行った。
高校生インターンシップ受入れ	2/13 都立八丈高校生徒 1 名インターンシップにより来所。指定管理者にて空港管理業務の概要説明や滑走路見学を行った。
東京 FSC 新任者研修対応	3/15 東京 FSC 職員 3 名来所。空港施設等の概要説明と双方質疑応答を行った。指定管理者より 1 名対応。

以上

超音波動物撃退装置 設置場所



■実施概要

装置概要	装置には赤外線センサーが付いており、センサーの範囲内に鳥や小動物が入ると、モスキート音が鳴る。 センサーの範囲は中心角110度・半径7m程度の扇状。
設置箇所	上図の8箇所
設置期間	平成29年10月31日～現在も設置中
検証方法	朝と昼の場周道路巡回時に、目視にて、装置周辺への鳥の飛来の有無を確認する。

■設置イメージ



■平成28年度・29年度下期 鳥類飛来数の比較

	鳥飛来数(全種)			うちシギ類飛来数			衝突記録(全種)	
	H28	H29	前年度比	H28	H29	前年度比	H28	H29
10月	4971	2205	-2766	3360	1785	-1575	1	1
11月	5608	2928	-2680	5540	2815	-2725	0	1
12月	3216	114	-3102	3155	91	-3064	1	0
1月	1287	43	-1244	1235	0	-1235	0	1
2月	798	86	-712	754	40	-714	0	0
3月	2082	10	-2072	1575	0	-1575	0	0
合計	17,962	5,386	-12576	15,619	4,731	-10,888	2	3

※H29年度3月の飛来数は3/13時点(昨年度の同時点ではシギ類655羽飛来)

■上記結果の考察

- ・前年の同時期と比較し、シギ類の大幅な減少が見られたことから、超音波動物撃退装置はシギ類に対して一定の効果がある可能性がある。シギ類は着陸帯の緑地部分全域に飛来する傾向があり、装置のセンサー感知範囲に進入する可能性が高いため、他の鳥類と比べ効果が出やすいと考えられる。
- ・シギ類以外の鳥類についても、超音波装置付近への飛来は少なかったが、他の種は、以下の通り着陸帯の緑地部分への進入が少ないため、装置の影響は受けづらいと考えられる。

種類	飛来場所(H29年下期実績)	習性等
キジ	両着陸帯末端等(設置区域外)	縄張り意識が強いので、同個体が一定の範囲外へ動くことは少ない。
カラス	滑走路や空港内の鉄塔、等	地上に降りることは餌を取る目的以外では少ない。
長元坊	空中でホバリング、 空港内の鉄塔、等	木の枝や絶壁の崖に巣を作る習性があるためか、地上に降りることが比較的少ない傾向がある。

- ・次年度以降も検証を継続し、効果の有無を判断したい。

以上

平成30年3月31日

平成29年度指定管理者自主事業実績一覧

指定管理者名
代表者

八丈島空港ターミナルビル株式会社
代表取締役社長 石山 明久

件名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
八丈島空港管理業務に関するウェブサイト作成	八丈島空港ターミナルビルホームページの空港管理課ページ内に管理事務所紹介及びイベント等告知欄掲載												別紙「自主29-01」参照
	通年掲載：毎月1回以上の更新を実施(掲載内容例)イベント告知(報告)航空機写真、駐車場案内、他)												
制限区域内見学会						開催						開催	別紙「自主29-02」参照 別紙「自主29-06」参照 別紙「自主29-09」参照
			実施			実施	実施	実施				実施	
八丈島空港の鳥獣防除対策の検証			カナブン吸引機設置、及び捕獲機設置 カナブン吸引機設置 毎日1回捕獲機設置し、処分										別紙「自主29-03」参照
八丈島空港施設案内板の設置			掲載内容の検討会開催				作成準備		作成			展示	別紙「自主29-04」参照
							掲載記事作成		スタンド 運送・搬入				
空港飾り付け活動	季節に合わせた飾り付け設置・作業												別紙「自主29-05」参照
	ネオニウム フラスター							事務所のワンダー ハロウィン装飾		駐車場イルミネーション		クリスマス フラスター	
			実施		実施			実施		実施		実施	
空港絵画展							展示準備		展示				別紙「自主29-07」参照
									準備	作品募集	展示準備	展示	
ご意見箱設置	ターミナルビル総合ロビーへ御意見箱設置、毎日務開館し内容を確認し重要事項内容選別し各関係先へ配布												別紙「自主29-08」参照
	通年実施、投函有無を毎日1回確認、重要事項内容選別し、関係機関へ配布												
空港花壇植栽作業					実施							実施	別紙「自主29-10」参照
					実施							実施	
空の日イベント		開催		開催		開催		開催					別添「平成29年度八丈島空港空の日イベント」参照
		開催		開催		開催		開催					

八丈島空港における自主事業報告書

(八丈島空港管理業務に関するウェブサイト作成)

平成 30 年 3 月 31 日

指定管理者 八丈島空港ターミナルビル株式会社

代表取締役社長 石山 明久

■実施実績

本年度の掲載記事一覧を以下に示す。目標であった「月 1 回以上の更新」は達成している。

更新日	掲載内容
4/25	・オーニソガラムのプランター設置 ・GW 期間中の空港駐車場交通整理について
5/31	・八丈島空港周辺でのドローン使用について
6/26	・空港内でのバードスイープについての説明(サギ類多数飛来のため)
7/26	・航空自衛隊ジェット機駐機中の写真 ・空港駐車場についてのご案内 ・平成 29 年度八丈島空港「空の日」イベント 9 月 30 日(土)開催の告知
8/30	・空港駐車場の一部区域閉鎖のお知らせ ・今年も「空の日」イベント開催詳細告知
9/27	・東京都・八丈町・青ヶ島村合同総合防災訓練の告知 ・空港内緑地の除草作業実施について ・空港駐車場の工事についての案内 ・空港内でのバードスイープについての説明(アジサシ多数飛来のため)
10/22	・海外行きビジネス機 4 機駐機の写真 ・平成 29 年度八丈島空港「空の日」イベント実施の様子 ・FDA チャーター機駐機の写真
11/23	・東京都・八丈町・青ヶ島村合同総合防災訓練の様子
12/5	・空港駐車場イルミネーション点灯のお知らせ ・八丈島空港消火救難対応訓練実施の様子
12/11	・クリスマス・滑走路ナイト見学会(12/22)実施の告知
12/26	・年末年始、空港駐車場交通整理の案内
12/27	・クリスマス・滑走路ナイト見学会(12/22)開催の様子
1/26	・空港ロビーにて島内小学生の絵画展開催の告知 ・航空機不法奪取(ハイジャック)対応訓練実施の報告
2/22	・滑走路見学会(3/10)参加募集のお知らせ
3/26	・フリージアのプランター設置 ・滑走路見学会(3/10)開催の様子

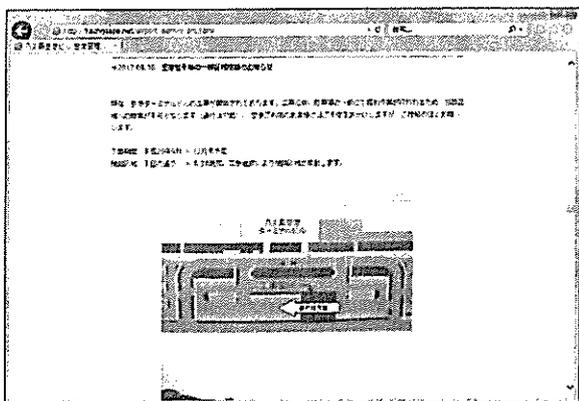
■掲載記事例



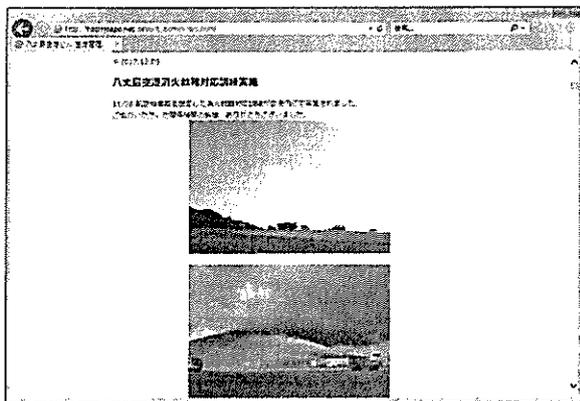
空港管理業務トップページにて、お知らせ・新着情報を更新。



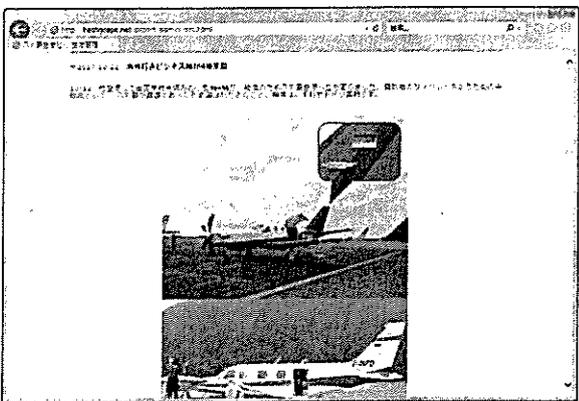
『空の日』や制限区域見学会など、空港のイベント予定や、当日撮影した写真の紹介。



駐車場利用者への案内。上記画面は工事による一部駐車禁止区域及び期間の説明記事。

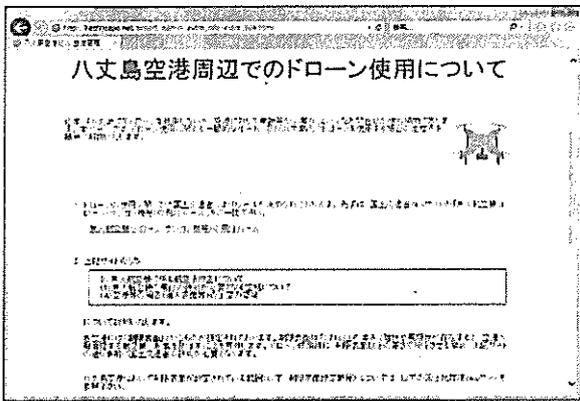


空港管理事務所業務の一部紹介(上記画面は消火救難訓練実施時のもの)。



見慣れない飛行機が駐機した際の写真。上記画面は外国籍のビジネスジェット来島時のもの。

※ 使用者の許可を得て掲載



問合せの多い案件について、説明のページを新設。上記画面は空港周辺でのドローン使用に関して、一般的なルール、及び管理事務所への連絡事項等についての解説記事。

以上

八丈島空港における自主事業報告書

(制限区域内見学会)

平成 29 年 6 月 28 日

指定管理者 八丈島空港ターミナルビル株式会社

代表取締役社長 石山 明久



実施日時
平成 29 年 6 月 21 日 (水) 午前 10:00～11:10
実施場所
八丈島空港制限区域内 (滑走路及び場周道路)
参加者
三根小学校 4 年生 4 名 (引率先生 1 名・保護者 1 名) / 空港管理事務所 3 名
実施内容
<p>■三根小学校 4 年生が到着後、空港管理事務所応接室にて本日のスケジュール説明及び管理事務所所長の歓迎挨拶。</p> <p>■滑走路・場周道路の見学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理事務所職員が運転する車両 2 台に分乗し、滑走路を通常の巡回ルートにて徐行しながら、空港付帯施設及び空港業務の概要を説明。業務紹介を兼ねて、灯火点灯のデモンストレーション及び鳥追い用の煙火打ち上げを行った。 ・場周道路を 1 周、滑走路見学と同様に施設等の説明を行い、場周道路の末端にて停止し、車内より灯火施設の説明及びヘリコプター着陸を間近で見学したり、制限区域内からの景観を楽しんでいただいた。 ・車内では施設の説明等を聞きながら各自記録をしていました。 ・制限区域内見学終了後、管理事務所出入口にて記念写真撮影実施。 <p>■記念撮影終了後、管理事務所応接室にて事前に頂いていた質問への回答を行い、終了後にアンケート用紙を配布し、後日回収した。</p> <p>■アンケート結果 (児童 4 名分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童からは、「来て良かった」、「また参加したい」という意見をいただきました。 <p>※別添資料…記念写真、質問内容 (事前入手分)、アンケート</p>
所感
<p>これまでの見学会実施後アンケートと同様、比較的好評な結果であると感じる。</p> <p>今回の対象者が少人数であったことは残念でしたが、空港施設や空港管理業務への興味を持っていただくことはもちろんであるが、何よりも八丈島空港への関心・理解を深めてもらうことを目的とし、今後も制限区域内見学会を継続実施していきたいと考えています。</p>

以上

八丈支庁港湾課課長 島平 敏行 様

八丈島空港における自主事業報告書

(八丈島空港の鳥獣防除対策の検証)

平成 29 年 10 月 6 日

指定管理者 八丈島空港ターミナルビル株式会社

代表取締役社長 石山 明久



設置目的			
カナブンの捕獲数とウミネコの飛来数の因果関係の検証			
実施期間			
平成 29 年 6 月 16 日から平成 29 年 8 月 15 日			
実施方法			
<ul style="list-style-type: none"> ・カナブンを捕獲する「フェロモントラップ」を場内周辺に 10 箇所設置。 H28 年は 8 箇所の設置であったが、H29 年は 2 セット追加購入し 10 箇所とした。 フェロモントラップの設置箇所：別添①参照 ・カナブンの捕獲数、ウミネコ飛来数の集計を上記期間中毎日行い、前年対比で検証を行った。 			
実施結果			
<p>1.カナブン捕獲数およびウミネコ飛来数の記録一覧 別添②参照</p> <p>2.前年データとの比較 別添②、別添③の記録から、カナブんとウミネコの飛来状況について、それぞれ以下の特徴が読み取れる。</p> <p>■ウミネコについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H28 年と比較し、合計記録数は 1,314 羽 → 1,052 羽と 262 羽減少している。 ・月毎の飛来傾向については、H28 年と異なる点が見うけられる。 			
		H28 年	H29 年
6 月	早朝	100 羽単位での飛来あり（100 羽、200 羽、300 羽の飛来が各 1 回）	まばらな群れのみ
	午後	まばらな群れのみ	まばらな群れのみ
	飛来時期	6 月中旬から飛来あり	6 月中旬から飛来あり
7 月	早朝	まばらな群れのみ	まばらな群れのみ
	午後	飛来記録 1 回	飛来記録 26 回
	飛来時期	7 月中旬で飛来終了	7 月末まで飛来継続
8 月	飛来時期	8 月は飛来記録ゼロ	8/11 まで飛来継続
<ul style="list-style-type: none"> ・H29 年は 7 月の飛来傾向は午後まで場内に留まるものが多かった。 ・H28 年は 7 月中旬以降の飛来がなかったが、H29 年は 8 月上旬まで飛来継続した。 			

■カナブンについて

- ・H29年はフェロモントラップを2個増設したが、合計捕獲数は減少している。
- ・若干の差異はあるが、6月から8月にかけて捕獲数が減少していく傾向は同じである。
- ・捕獲数が減少する理由の一つとして、トラップの誘引剤の効果が2ヶ月であるため、時間経過とともに効果が薄れていくためと推測される。

考察

■カナブン捕獲合計数の減少について

H29年は6～7月にサギ類の飛来が多かった。

6月、7月のサギ類飛来数合計	:	H28年	816羽
		H29年	2,636羽

サギ類は雑食であり昆虫も餌となるため、サギ類によってカナブンが捕食されたことで昨年より捕獲数が減少した可能性が考えられる。その他の要因については未調査のため不明である。

■ウミネコの飛来傾向について

6月に関して、H28年は早朝に100羽単位での飛来が6月中に3回・計600羽あったため、合計飛来数が大きくなっている。しかし、早朝の100羽単位の群れはカナブン捕食のためではなく、前夜から羽を休めるために飛来しているものと仮定し（次項の「ウミネコの習性」を参照）、この600羽を除いた数で比較するならば、6月は午前・午後とも前年と似た傾向となる。結果として、6月は類似傾向、7月・8月は様相が大きく異なると言える。別添③に示すバードスイープ回数、バードストライク件数にも、その影響がよく現れている。

■ウミネコの習性について

一般に「ウミネコは海が時化しているとき、濃霧が発生しているときは内陸部に行く習性がある」とされている。しかし添付②の記録を見る限り、必ずしもその通りにはなっていない。また、ウミネコは草地よりも滑走路やエプロンなど舗装面に留まることが多く、港湾でも人工物である堤防上に止まっている姿が普通に見られる。したがって滑走路への飛来は休憩目的であり、捕食とは相関がない（または小さい）という可能性も考えられる。

結論

カナブンの捕獲数とウミネコの飛来数の相関関係の有無について現時点で判断することは、以下の理由により難しい。来年度以降もデータの記録と検証を続けていく必要がある。

- ・検証回数が少ない H28年、H29年の2シーズンのデータのみである。
- ・検証材料の不足 カナブン数以外にも様々な要因が考えられる（天候、気温、海水温、等）。

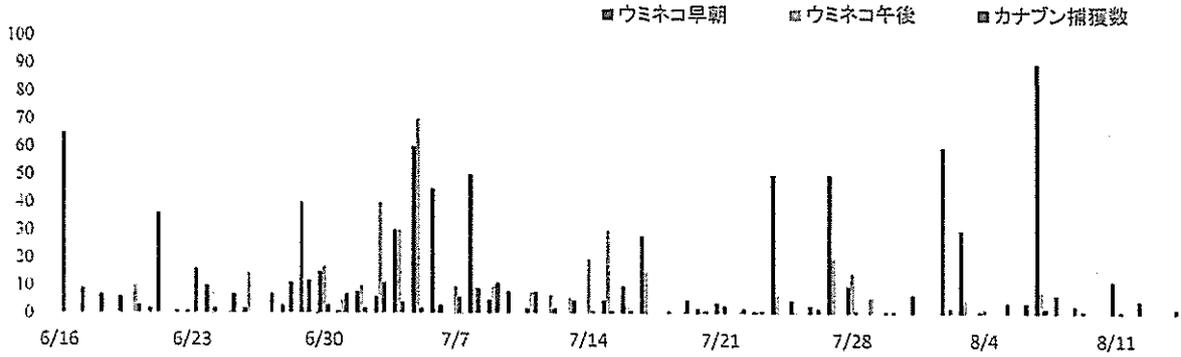
来年度以降継続する場合の改善案として、以下が考えられる。

- ・カナブン捕獲数を増加させる方法を検討（実施時期、及び設置場所の再検証）
カナブン捕獲の絶対数が増加すれば、ウミネコ飛来数との因果関係を考察するうえで、より信頼できるデータとなる。
- ・ウミネコの生態調査
- ・その他、ウミネコの飛来に影響を与えそうなデータの入手
天候、気温、湿度、海水温、海況、島内全域のウミネコ数、島内全域のカナブン数、他の鳥類の飛来状況及び生態調査、その他

以上を踏まえ、次年度以降の対策を検討する。

以上

■カナブン・ウミネコ観測記録一覧



日付	天気		カナブン捕獲数 [匹]											ウミネコ飛来数 [羽]								
	H29		H29										H28	H29	増減	H28			H29			増減
	AM	PM	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	計	計		朝	昼	計	朝	昼	計	
6/16	晴	曇	4	15	5	1	1	7	9	14	4	5	7	65	58	0	0	0	0	0	0	0
6/17	晴	曇	3	0	0	1	1	0	0	1	2	1	20	9	-11	0	0	0	0	0	0	0
6/18	雨	雨	3	2	0	0	0	0	0	0	2	0	23	7	-16	0	10	10	0	0	0	-10
6/19	晴	晴	0	0	1	0	0	1	1	2	0	1	13	6	-7	300	0	300	0	0	0	-300
6/20	晴	晴	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	11	3	-8	2	1	3	0	10	10	7
6/21	雨	雨	2	3	1	2	2	1	1	2	12	10	21	36	15	3	4	7	2	0	2	-5
6/22	曇	曇	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	1	-20	200	10	210	0	0	0	-210
6/23	雨	曇	3	8	0	1	0	0	1	1	1	1	27	16	-11	2	5	7	1	0	1	-6
6/24	曇	曇	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	9	2	-7	50	2	52	10	0	10	-42
6/25	雨	雨	2	2	1	0	0	1	0	1	0	0	7	7	0	30	30	60	0	1	1	-59
6/26	雨	雨	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	-2	3	2	5	2	15	17	12
6/27	雨	雨	1	0	0	0	1	1	0	0	2	2	17	7	-10	100	0	100	0	0	0	-100
6/28	雨	雨	0	1	0	1	2	2	0	1	2	2	14	11	-3	29	0	29	3	0	3	-26
6/29	曇	晴	1	4	0	0	1	3	0	3	0	0	8	12	4	5	0	5	40	2	42	37
6/30	曇	曇	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	5	3	-2	2	0	2	15	17	32	30
7/1	濃霧	濃霧	0	1	0	0	0	1	2	2	1	0	12	7	-5	8	0	8	1	5	6	-2
7/2	濃霧	濃霧	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	20	2	-18	30	0	30	8	10	18	-12
7/3	濃霧	濃霧	1	1	0	1	2	0	3	2	1	0	4	11	7	40	0	40	6	40	46	6
7/4	濃霧	濃霧	1	1	0	0	0	0	1	0	1	0	4	4	0	0	0	0	30	30	60	60
7/5	濃霧	濃霧	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	11	2	-9	0	0	0	60	70	130	130
7/6	晴	晴	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	4	3	-1	0	0	0	45	2	47	47
7/7	晴	曇	0	1	1	0	0	0	1	2	1	0	5	6	1	0	0	0	10	10	10	10
7/8	晴/霧	晴	3	2	0	0	0	2	2	0	0	0	5	9	4	0	0	0	50	10	60	60
7/9	晴	晴	1	0	0	2	1	1	4	1	1	0	8	11	3	15	300	315	5	10	15	-300
7/10	晴	晴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	-5	10	0	10	8	0	8	-2
7/11	晴	晴	0	3	0	1	0	0	1	0	2	1	5	8	3	0	0	0	2	8	10	10
7/12	晴	晴	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5	2	-3	100	0	100	0	7	7	-93
7/13	晴	晴	1	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	5	5	0	0	0	0	6	6	6
7/14	晴	晴	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	20	20	20	20
7/15	晴	晴	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	5	1	-4	0	0	0	5	30	35	35
7/16	晴	晴	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	8	1	-7	20	0	20	10	3	13	-7
7/17	曇	曇	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	-1	0	0	0	28	15	43	43
7/18	曇	晴	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	-1	0	0	0	0	0	0	0
7/19	晴	晴	0	0	0	0	0	0	2	3	0	0	0	5	5	0	0	0	0	1	1	1
7/20	晴	晴	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	5	1	-4	1	0	1	2	1	3	2
7/21	晴	晴	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	8	3	-5	0	0	0	4	3	7	7
7/22	晴	晴	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	3	2	-1	0	0	0	0	1	1	1
7/23	晴	晴	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	1	1	2	2
7/24	晴	晴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50	7	57	57
7/25	晴	晴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1	6	6
7/26	晴	晴	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	3	0	3	3
7/27	晴	晴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	-2	0	0	0	50	20	70	70
7/28	晴	晴	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	10	15	25	25
7/29	晴	晴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6	6
7/30	晴	晴	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	1	0	1	1
7/31	晴	晴	1	0	0	0	0	6	0	0	0	0	4	7	3	0	0	0	0	0	0	0
8/1	晴	晴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8/2	曇	晴	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	60	0	60	60
8/3	雨	曇	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	-3	0	0	0	30	5	35	35
8/4	曇	曇	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	-6	0	0	0	1	2	3	3
8/5	曇	曇	0	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0
8/6	曇	曇	1	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0
8/7	曇	晴	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2	2	0	0	0	0	90	8	98	98
8/8	曇	晴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	-7	0	0	0	7	0	7	7
8/9	晴	曇	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	3	0	3	3
8/10	霧	霧	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	-2	0	0	0	0	0	0	0
8/11	霧	曇	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	12	0	12	12
8/12	曇	曇	0	0	0	0	0	2	3	0	0	0	0	5	5	0	0	0	0	0	0	0
8/13	曇	曇	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	-3	0	0	0	0	0	0	0
8/14	晴	晴	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0
8/15	曇	曇	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	-1	0	0	0	0	0	0	0
合計			34	53	12	15	18	29	34	44	40	24	359	303	-56	950	364	1,314	660	392	1,052	-262

(参考) A~Hのみの捕獲数 359 239 -120

■観測データ月毎の比較

	カナブン回収数 [匹]			ウミネコ飛来数 [羽]							バードスイープ回数 (対ウミネコのみ)		バードストライク件数 (対ウミネコのみ)	
	H28	H29	増減数	H28			H29			増減	H28	H29	H28	H29
				早期	午後	計	早期	午後	計					
6月	205	185	-20	726	64	790	73	45	118	-672	6	10	1 (1羽)	1 (2羽)
7月	129	97	-32	224	300	524	384	332	716	192	2	80	0	3 (計5羽)
8月	25	21	-4	0	0	0	203	15	218	218	0	20	0	0
合計	359	303	-56	950	364	1,314	660	392	1,052	-262	8	110	1 (1羽)	4 (計7羽)

八丈島空港における自主事業報告書

(八丈島空港施設案内板の設置)

平成 30 年 3 月 29 日

指定管理者 八丈島空港ターミナルビル株式会社

代表取締役社長 石山 明久

■実施実績

本案件は平成 29 年度から 3 年程度の期間で実施するものとして企画書を提出している。

本年度の実施予定と進捗を以下に示す。

掲示物のデータ作成 本年度は、以下を作成予定 ①空港の灯火施設全体像(A2 サイズ) ②灯火施設 1～2 種類(各 A3 サイズ)	空港の灯火施設全体図、及び灯火施設 1 種類(PAPI)について、掲載文の作成及び写真の収集を実施。いずれも完成に至っておらず、進捗 30%程となっている。
A1 サイズスタンド 1 脚(両面タイプ)の購入	スタンドを選定し、1 脚購入済みである。
作成した掲示物の大判印刷	印刷発注先候補を調査中である。数社まで絞り込んだ状態となっているが、決定はしていない。

本年度の実績は、上記の通り計画よりも遅れを生じている。平成 30 年度以降については、計画を再検討した上で、引続き実施していく。

以上

八丈島空港における自主事業報告書

(空港飾り付け活動)

平成 30 年 3 月 31 日

指定管理者 八丈島空港ターミナルビル株式会社
代表取締役社長 石山 明久

■実施案件一覧

①制限区域内への季節の花プランター設置

平成 28 年 10 月にオオニソガラムの球根を鉢植えし、弊社社用地にて育成。開花の時期が近づいたため、プランター 20 個を空港敷地内へ移動させた。設置場所は航空機利用者が搭乗橋より観賞できるよう、管理事務所横のゲート周辺とした。また、一部を株分けし、空港管理事務所の受付カウンターへも設置した。フリージアについても、同様に育成・展示をした。

実施日・期間	内容	備考
H29.4.1 ~ H29.4.30	オオニソガラムプランター設置	
H29.6.5、7.19、10.26	フリージア球根手入れ	
H30.3.15 ~ H30.3.31	フリージアプランター設置	

②空港管理事務所カウンター周辺装飾

空港利用者の満足度向上のため、歓迎の意を示す「おじゃりやれ」のステッカーを貼り付けたり、季節感を演出する装飾を行った。

実施日・期間	内容	備考
H29.4.27 ~ H30.3.31	入口ドアに「おじゃりやれ」ステッカー貼付	
H29.10.1 ~ H29.10.31	ハロウィン風装飾	
H29.12.1 ~ H29.12.25	クリスマス風装飾	

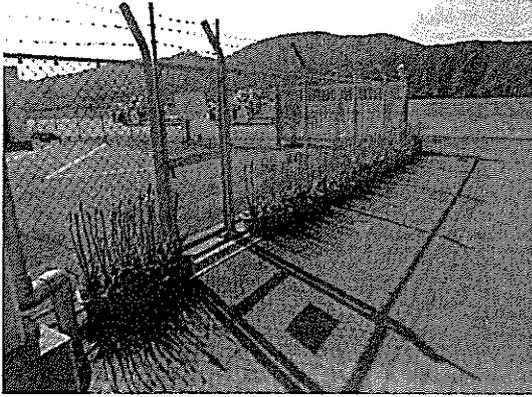
③空港駐車場イルミネーション設置

空港駐車場のモニュメント周辺へ、LED イルミネーションを 3 基設置。1 基は既存の都購入品、2 基は H28 年度自主事業にて弊社購入したものである。昨年度からの変更点として、LED チューブライト 1 本を新規購入し、飛行機を象った装飾を追加した。また、夜間にも見物客が駐車場を利用することを想定し、実施期間中は駐車場照明の点灯時間を通常よりも延長させた。

実施日・期間	内容	備考
H29.11.25 ~ H30.1.25	イルミネーション設置、点灯。 点灯時間は日没頃 ~ 22:00。	期間中、夜間の駐車場照明の点灯時間延長。

■実施風景

①制限区域内への季節の花プランター設置



4月 オオニソガラムのプランター設置。



一部を株分けし、管理事務所カウンターにも設置。



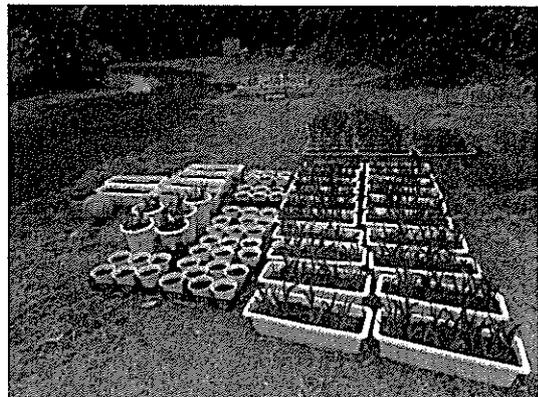
3月に設置予定のフリージアの球根手入れ。



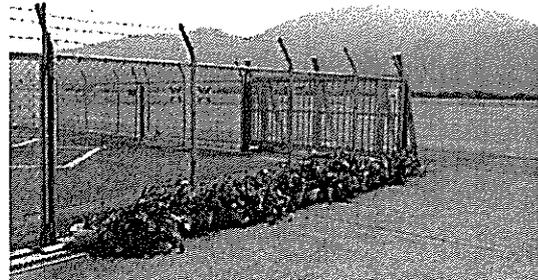
弊社社員協力のもと実施。



育成は弊社社有地にて実施。

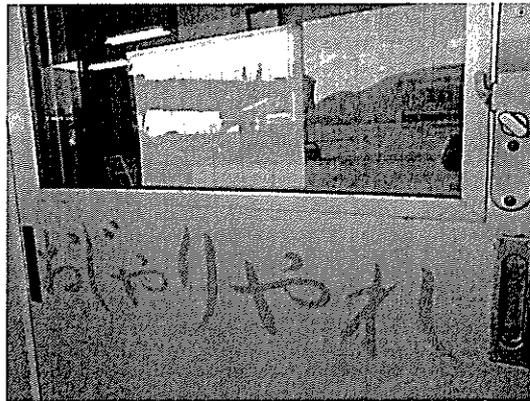


3月 フリージアプランター設置。



開花後の様子

②空港管理事務所カウンター周辺装飾



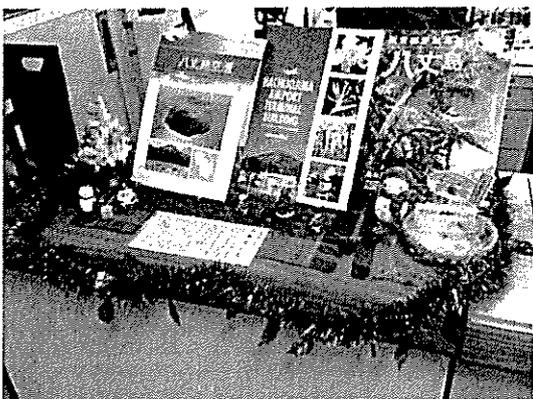
管理事務所入口ドアへ「おじゃりやれ」ステッカー貼付 ステッカーは自作したものである。



10月 ハロウィン風の装飾



ハロウィンイベントに合わせた制限区域見学会の際には、参加者からも好評をいただいた。



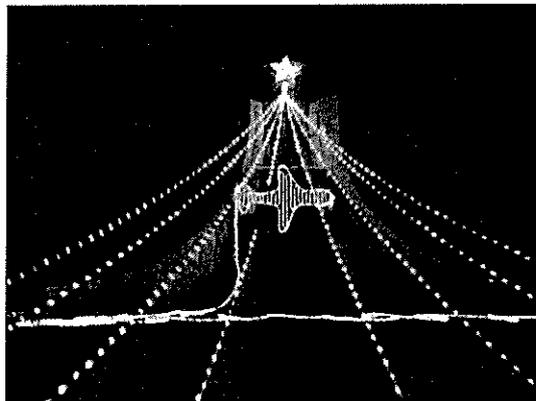
2月 クリスマス風の装飾



③空港駐車場イルミネーション設置



ターミナルビル正面のモニュメント周りに LED イルミネーション 3 基設置。



LED チューブライトを用い、手作りで飛行機を象った電飾を作成。

以上

八丈支庁港湾課 課長 島平敏行 様

八丈島空港における自主事業報告書

(制限区域内見学会)

平成 29 年 10 月 24 日

指定管理者 八丈島空港ターミナルビル株式会社

代表取締役社長 石山 明久

実施日時	平成 29 年 10 月 4 日 (水) 午前 10:30~11:45
実施場所	八丈島空港制限区域内 (滑走路及び場周道路)
参加者	八丈町立大賀郷小学校 (児童 13 名/引率先生 2 名) / 空港管理事務所 3 名
実施内容	<p>■空港管理事務所応接室にてスケジュール説明及び事前に頂いた質問に対する回答を行った。</p> <p>■滑走路・場周道路の見学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理事務所職員が運転する車両 3 台に分乗し、滑走路を通常の巡回ルートにて徐行しながら、空港付帯施設及び空港業務の概要を説明。業務紹介を兼ねて、灯火点灯のデモンストレーション及び鳥追い用の煙火打ち上げを行った。 ・場周道路を 1 周、滑走路見学と同様に施設等の説明を行い、場周道路の末端にて停止し、車内より灯火施設の説明及び制限区域内からの景観を楽しんで頂いた。 ・制限区域内見学終了後、管理事務所出入口にて記念写真撮影実施。 <p>■記念撮影終了後、アンケート用紙を配布し、後日回収した。</p> <p>■アンケート結果 (児童 13 名分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童からは、「楽しかった」という意見の他に、「空港の中に入ることの出来るイベントを増やしてほしい」といった意見も多く、今回の見学会参加により、空港への興味や理解が深まった。過去開催と同様に好評であったと感じる。 <p>※別添資料…記念写真、質問内容 (事前入手分)、アンケート結果まとめ</p>
所感	<p>引率の先生にも別の学年でもぜひ実施したいとご意見を頂き、児童だけでなく学校全体で興味を持って頂けた。</p> <p>今回の開催で全小学校に見学会を実施した事となるが、引率の先生の意見から、別の学年の誘致を行い同学校で定期的実施するなど、一考の余地がある。また、中学校など団体の誘致拡大も行い、島内全体に空港への興味と関心を持って頂けるように引き続き実施していきます。</p>

以上

八丈支庁港湾課 課長 島平敏行 様

八丈島空港における自主事業報告書

(八丈島空港絵画展)

平成 30 年 3 月 5 日

指定管理者 八丈島空港ターミナルビル株式会社

代表取締役社長 石山 明久



実施目的	
賑わい・地域貢献活動の一環として、島内の全小学校児童を対象に「こんな飛行機があったらいいな」・「こんな飛行機があったらいいな」2つのテーマに沿った絵画を募集し、作品の展示を行った。	
実施詳細	
<p>■展示日程：三根小学校 平成 30 年 2 月 1 日から平成 30 年 2 月 14 日 三原・大賀郷小学校 平成 30 年 2 月 15 日から平成 30 年 2 月 28 日</p> <p>※応募者多数のため、当初の予定である 2 月 14 日までの期間から延長し、前半と後半、2 回に分けて展示を行った。</p> <p>■展示場所：空港ビル総合ロビー内 ※別添資料②参照</p> <p>■募集方法：平成 29 年 12 月 14 日の校長会にて本企画の説明の場を設けていただき、各学校へのお声掛けと校内への募集ポスターの貼付依頼を掛けた。</p> <p>■応募総数：61 点（三根小学校 32 枚、三原小学校 24 枚、大賀郷小学校 5 枚）</p> <p>■アンケート：実施期間中に実施し、投書数 24 件があり。※アンケート集計は別添資料①参照</p> <p>■出費項目：画用紙（全小学校児童分） 360 枚 18,000 円 図書券 500 円分（参加賞として配布） 61 枚 30,500 円 計 48,500 円</p>	
所感	
アンケートの結果「このようなイベントを継続して欲しい」や「空港らしい企画である」などの意見が多数あったことから、来港者より好評を頂いたと考える。また、学校側が快く依頼を引き受けて頂いた事や予想を上回る作品の募集があったという点から、学校や児童もこのようなイベントや空港、航空機等に一定の興味や関心があることが窺える。空港にとっても空の日イベント以外で、地域とのつながりを持つ、貴重な機会であることから、次年度以降もこのようなイベントの実施を検討していきたい。	

以上

八丈島空港における自主事業報告書

(ご意見箱設置)

平成 30 年 3 月 31 日

指定管理者 八丈島空港ターミナルビル株式会社

代表取締役社長 石山 明久

概要

・設置場所

空港ターミナルビル総合ロビー、または連絡橋へ 1 箇所設置。設置場所は概ね 1 ヶ月毎に移動させた。

※ 設置箇所は、別紙「平成 29 年度 ご意見箱設置場所一覧」参照

・実施期間

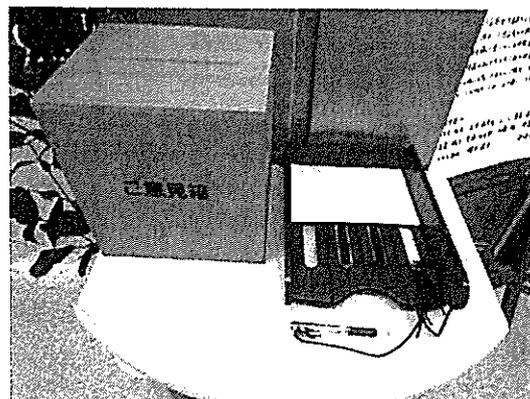
平成 29 年 4 月 1 日 ～ 平成 30 年 3 月 31 日

・運用方法

空港管理事務所担当者が 1 日 1 回、投書の有無を確認。

投書があった場合、コピーを対象機関へ提出し、対応を検討いただくよう依頼した。

・実施の様子



実施結果

・投函された意見・要望等集計 ※ 詳細は別紙「平成 29 年度「ご意見箱」年間投函記録」参照

対象機関	お褒めの言葉	意見・要望	苦情	合計
空港ビル(HAT)	1	6	5	12
ANA		2		2
テナント		3		3
管理事務所			1	1
その他	2			2

次年度の方針

上記結果の通り、投函される意見の多くはターミナルビル施設に関するものとなっている。従って、次年度以降は指定管理の自主事業からは除外し、空港ターミナルビル(HAT)へ移管して実施継続とする。

以上

八丈島空港における自主事業報告書

(空港制限区域内見学会・一般募集)

平成 30年 3月 29日

指定管理者 八丈島空港ターミナルビル株式会社

代表取締役社長 石山 明久

実施実績

企画書の通り滑走路見学会を一般募集の形で募集し、以下の通り 3 回実施した。

■第 1 回目 平成 29 年 10 月 29 日 10 時 30 分から 11 時 30 分

- ①参加者数：39 名（乳幼児含む）
- ②受付方法：ホームページに記載し、当日受付とした。窓口はターミナルビル社員。
- ③コース：滑走路 1 往復（時間の都合上降車無し）
- ④その他：空港ビル実施のハロウィンイベントに合わせ開催。当初は定員 12 名、滑走路 1 往復+場周道路 1 周を予定だったが、希望者多数のため定員を増やし、2 回に分けて走行した。コースも場周道路を省略した。

■第 2 回目 平成 29 年 12 月 22 日 18 時 30 分から 20 時 00 分

- ①参加者数：53 名（乳幼児含む）
- ②受付方法：島内各店舗（スーパー・書店等）へのポスター貼付とホームページでの周知。総合ロビーに受付用紙設置し、先着 60 名（15 名×4 回）で募集した。
- ③コース：滑走路 1 往復（夜間実施のため降車なし）
- ④その他：空港ビル実施のクリスマスイベントに合わせ開催。参加者を 4 回に分けて実施。夜間の実施だったのでクリスマスのイメージに併せ灯火のライトアップ中で走行した。

■第 3 回目 平成 30 年 3 月 10 日 10 時 30 分から 11 時 30 分

- ①参加者数：14 名（乳幼児含む）
- ②受付方法：島内各店舗（スーパー・書店等）へのポスター貼付とホームページにて周知。当日、総合ロビーにて整理券を配布し、参加者を募った。
- ③コース：滑走路 1 往復+場周道路 1 周（場周道路両末端にて、写真撮影等のため降車）
- ④その他：当初は小学生以上を対象だったが、参加枠拡大のため、対象年齢を引き下げた。

※第 2 回と 3 回目については終了後、アンケートを実施。アンケート用紙の様式は別添参照。

所感

今回の開催は参加者一般公募で行い、いずれも幅広い年代の方に参加をしていただいた。特に第 3 回目については、前 2 回と比較し、家族連れではなく大人のみでの参加が目立った。このことから、滑走路に入れることは、大人・子供問わず、一定の興味があることが窺える。またアンケートの回答で「今後も実施して欲しい」との意見が複数見られ、島民の方には一定の興味を持っていただいていると考えられる。次年度も実施する方向で検討していきたい。

実施時の様子



10/29 空港ターミナルビル総合ロビーにて行われたハロウィンイベント会場にて、制限区域内見学会への参加を募集。当初、定員12名にて一巡の予定だったが、参加希望が多かったため2組に分けての実施とし、ルートは時間の都合により滑走路のみとした（予定していた場周道路を省略）。

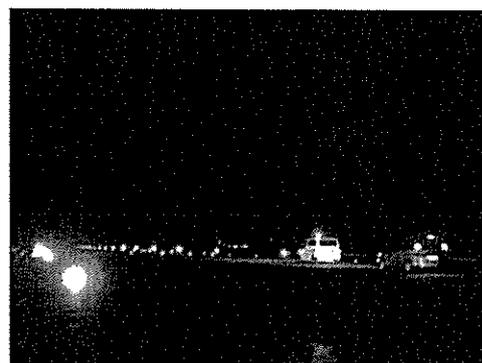


終了後に参加者全員（大人のみ）にアンケートを実施。

※ アンケートは第2回・第3回イベント時にも実施



12/22 空港ターミナルビルの実施するクリスマスイベントに合わせ参加募集（事前申込み）。受付窓口はターミナルビル社員（弊社社員）が担当した。



航空灯火をイルミネーションに見立て、滑走路を一往復。車内では担当者から、灯火に関する解説等がなされた。



3/10 実施時の様子。他のイベントと日程を併せたものではなく、当日受けただったにもかかわらず、募集定員に近い参加をいただいた。



場周道路末端付近で一旦降車。写真撮影等を楽しんでいただいた。

以上

八丈支庁港湾課 課長 島平敏行 様

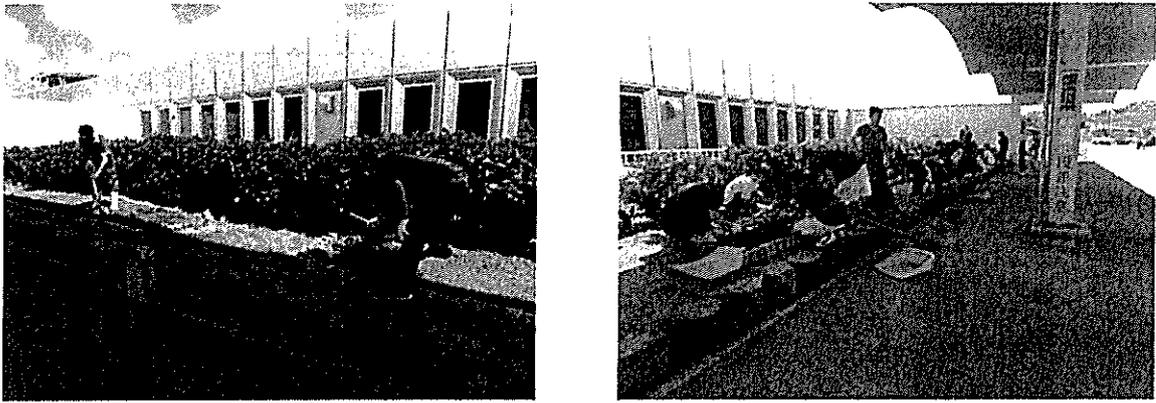
八丈島空港における自主事業報告書

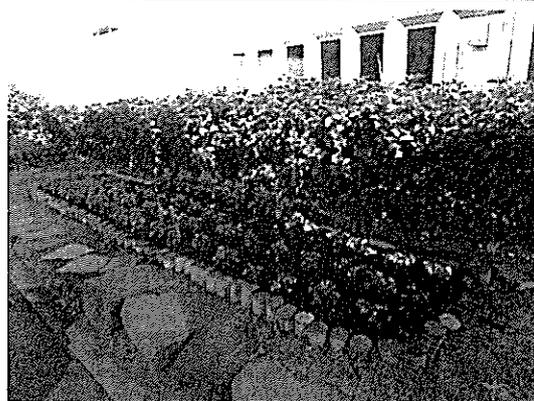
(空港花壇植栽作業)

平成 30 年 3 月 29 日

指定管理者 八丈島空港ターミナルビル株式会社

代表取締役社長 石山 明久

実施実績	
平成 29 年 7 月 6 日	夏期の花植栽に先立ち、花壇整地
7 月 12 日	夏期の花、植栽
9 月 28 日	夏期の花、植え直し
12 月 11 日	冬季の花植栽に先立ち、花壇整地
12 月 14 日	冬季の花、植栽
※作業時間はいずれも 30 分～1 時間	
実施場所	
八丈島空港ターミナルビル前花壇	
参加者	
都立八丈高校生徒、教員 / 空港管理事務所	
実施内容	
都立八丈高等学校 1 年生、及び教員がボランティアで空港花壇へ季節の花を植栽。弊社の空港管理業務担当社員も共同で作業を行った。作業は夏期(7 月)と冬季(12 月)の 2 回実施。夏期植栽は劣化が進んだため、9 月に植え直しを実施。植栽後の管理(水やり)等は弊社社員が継続して実施。	
	
7 月 植栽に先立ち、花壇を整地	



7月 夏期の花を植栽



9月 夏期の花を植え直し(生徒は未参加)



12月 整地作業



12月 冬季の花を植栽

以上

平成29年度 八丈島空港空の日イベント実施報告書

1. 開催日：平成29年9月30日（土） 9：00～15：30
2. 事前準備内容
3. イベント内容一覧表 : 別紙①
 - ・海自・陸自・警視庁ヘリ・ANA 航空機・消防車両等地上展示
 - ・ANA キッズアナウンスコンテスト・誘導體験・制服写真館
 - ・ANA 航空機への歓迎放水アーチ
 - ・東京都立八丈高等学校吹奏楽部演奏
 - ・こども紙飛行機大会
 - ・東邦航空ヘリ遊覧飛行（紙飛行機大会上位入賞者9名）
 - ・屋外縁日(駄菓子・玩具販売)・フリーマーケット
 - ・ANA グラス販売
 - ・北海道物産展
 - ・航空機写真展示
 - ・空港場周道路自転車ツアー
 - ・空の日ワンコインランチ（特製カレー）
4. 来場者数：791名
5. イベント風景写真 : 別紙②
6. イベントポスター : 別紙③
7. 記念品及び各機関協力内容一覧 : 別紙④
8. 意見まとめ・報告会議事録・収支報告書 : 別紙⑤

東京都八丈島空港管理事務所

指定管理者 八丈島空港ターミナルビル株式会社

平成29年度八丈島空港空の日 各イベント実施内容結果

別紙①

イベント名	主催者	協力機関	開催場所	参加者数	実施時間	備考
各航空機体・車両展示	管理事務所	ANA 警視庁航空隊 海上自衛隊館山航空隊 陸上自衛隊木更津航空隊 消防本部 八丈島警察署	エプロン	652名	10:00～15:00	ANA1893便A320-200 AW-139 SH-60K CH-47 化学消防車1台 パトカー・白バイ各1台
ANAキッズアナウンスコンテスト	ANA	—	空港ビル ANAカウンター前	5名	10:00～12:30 午後中止	午前の部:5名 午後の部:参加者なし
ANA誘導体験	ANA	—	エプロン	13名	12:00～13:30	ANA1893便実機誘導
ANAキッズなりきり写真館	ANA	—	空港ビル3階会議室	70名	09:30～15:00	
ANA航空機への歓迎放水アーチ	管理事務所 ANA 消防本部	消防本部	誘導路付近	—	13:20～13:25	ANA1893便 到着時刻13:22遅延
吹奏楽演奏	管理事務所	東京都立八丈高等学校 吹奏楽部	エプロン内	—	13:30～13:45	ANA1893便 駐機後実施 生徒8名 教員5名
紙飛行機大会・遊覧飛行	HAT	東邦航空	東邦航空格納庫	33名	11:00～11:30 16:00～16:25	各部門の上位者は東邦航空へ引にて 遊覧飛行実施(9名)
屋外緑日(駄菓子・玩具販売) フリーマーケット	HAT	—	CAB駐車場内	—	09:30～15:30	駄菓子完売 フリーマーケット残り社協へ寄付
ANAグラス販売	ANA	—	CAB駐車場内	—	09:30～15:30	55セット完売
北海道物産展	HAT	—	空港ビル総合ロビー	—	09:30～15:30	156点売り上げ
航空機写真展示	管理事務所	—	空港ビル総合ロビー	—	09:00～15:30	展示数 15枚
空港場周道路自転車ツアー	管理事務所	—	場周道路	18名	14:30～15:20	受付時間 09:00～10:30 受付件数 18件 ※貸し自転車5台使用・先導車両2台
空の日特製ワンコインランチ	HAT	—	空港ビルレストラン あかこっこ	—	10:30～15:30	空の日特製カレー(150食用意) 105食提供
			総合計	791名		

八丈島空港空の日

平成 29年 9月 30日 (土) 9:00 ~ 15:30

駐機場の開門時間 10:00~15:00

★ANAキッズ

アナウンスコンテスト★

受付時間 9:00~10:00
 受付場所 ANAカウンター
 開催時間 10:00~12:30
 14:30~15:30

※ 定員先着20名
 ※ 女子はスカーフ・男子はネクタイを着用出来るシャツでお越しください

★こども紙飛行機大会★

受付時間 10:00~11:00
 受付場所 東邦航空格納庫前
 開催時間 第1部 11:00~
 第2部 第1部終了後開催

開催場所 東邦航空格納庫内
 対象者 小学生のみ
 第1部小学生1・2・3年生 第2部4・5・6年生
 第1部4名 第2部5名入賞者に豪華特典あり

★航空機

化学消防車等の地上展示★

展示時間 10:00~15:00
 展示場所 駐機場



★ANAキッズ航空機誘導體験★

受付時間 9:00~10:00
 受付場所 ANAカウンター
 開催時間 12:00~13:30
 ※ 定員先着10名



★空港内場周道路自転車ツアー★

受付時間 9:00~10:30
 受付場所 総合受付
 開催時間 14:30~15:30

対象者 小学3年生以上 (先着30名)
 ※ 自転車の無い方は申し出てください
 (大人用自転車用意あり 先着5名まで)



★ANAキッズ制服写真撮影★

受付時間 9:00~15:00
 受付・開催場所 3階多目的スペース
 開催時間 9:30~15:30
 ※ 定員なし(先着30名に特典あり)

★空の目ワンコインランチ★

レストラン・アカッコ 10:30~15:30
 (限定150食)



★化学消防車放水アーチ★

開催時間 13:00~13:30
 ANA1893便到着時、化学消防車による歓迎放水アーチ実施

★都立八丈高等学校
吹奏楽部演奏会★

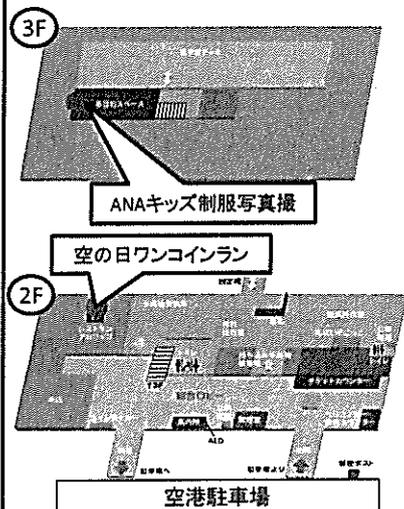
開催時間 13:00~13:30
 ANA1893便到着時、屋外にて演奏

★屋外特設売店★

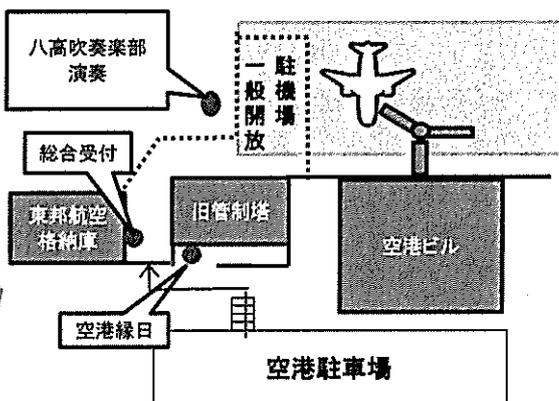
開催時間 9:30~15:30
 空港線日(駄菓子等販売)
 開催場所 旧管制塔駐機場



空港ビル内案内図



屋外イベント案内図



※ 制限区域会場内は禁煙になります。
 制限区域会場内の食べ物持込禁止となっております。

「空の日」実行委員会事務局

・お問合せ
 八丈島空港管理事務所
 電話 04996-2-0163
 ・天候その他の事情により、イベント内容の変更または中止となる場合があります。あらかじめご了承ください。
 ・詳しくは下記ホームページをご覧ください。
 八丈島空港ターミナルビル(株)HP
<http://hachijoapo.net/>

空の日ネット
<http://www.soranohi.net/>

空の日キャラクター
 「くにもる」くん



指定管理者アンケート結果（平成 29 年度）

（単位：件数）

アンケート設問	確認項目	アンケート評価別件数					回答数
		大変満足	やや満足	普通	やや不満	大変不満	
1 電話の対応	職員の接客対応	19	1	2	0	0	22
2 受付窓口の対応		20	1	1	0	0	22
3 空港使用料金の徴収事務対応		18	1	1	0	0	20
4 スポットの分かりやすさ	施設設備の状況	16	3	2	1	0	22
5 空港施設の使いやすさ		15	3	4	0	0	22
6 空港施設のきれいさ		15	8	1	0	0	22
7 全体の満足度	利用条件	18	4	0	0	0	22

* 回答者はプライベート機の利用者

主な意見・要望等

- ・大変満足しています。これからも小型機利用が多くなれば良いと思っています。
- ・大変丁寧に対応していただき、有難く思います。
- ・利用予約の際、親切にご対応いただきました。

経営基盤計算書

(単位:円)

	26年度	27年度	28年度	29年度
経営資本	643,737,200	745,954,337	901,021,097	991,235,297
資産合計	975,450,122	991,038,493	1,089,716,114	1,104,571,778
建設仮勘定	0	0	11,096,703	25,530,000
投資等	331,712,922	245,084,156	177,598,314	87,806,481
売上高	481,201,606	489,104,441	604,426,484	598,203,834
営業利益	47,282,975	48,309,200	76,190,235	50,629,697
流動資産	386,867,978	514,196,823	685,051,127	726,025,944
固定資産	588,582,144	476,841,670	404,664,987	378,545,834
流動負債	71,301,992	61,843,677	102,971,993	80,108,119
固定負債	61,407,482	54,503,593	56,947,893	58,880,793
負債合計	132,709,474	116,347,270	159,919,886	138,988,912
資本合計	842,740,648	874,691,223	929,796,228	965,582,866
固定負債・資本合計	904,148,130	929,194,816	986,744,121	1,024,463,659
負債・資本合計	975,450,122	991,038,493	1,089,716,114	1,104,571,778

営業収益(a)	481,201,606	489,104,441	604,426,484	598,203,834
業務費用(b)	433,918,631	440,795,241	528,236,249	547,574,137
(営業利益)(a)-(b)	47,282,975	48,309,200	76,190,235	50,629,697

	25・26年度	26・27年度	27・28年度	28・29年度
経営資本平均値	599,639,150	694,845,769	823,487,717	946,128,197

	26年度	27年度	28年度	29年度
1 経営資本営業利益率	7.89	6.95	9.25	5.35
2 経営資本回転率(回)	0.80	0.70	0.73	0.63
3 売上高営業利益率(%)	9.83	9.88	12.61	8.46
4 流動比率(%)	542.58	831.45	665.28	906.31
5 自己資本比率(%)	86.40	88.26	85.32	87.42
6 固定資産長期資本比率	65.10	51.32	41.01	36.95

- | | | |
|---|-------------|---|
| 1 | 経営資本営業利益率 | 高い方がよく、10%以上が好ましい。日本での全業種平均は3%程度で、製造業では4%、非製造業で2.6%程度。 |
| 2 | 経営資本回転率(回) | 高いほど良い。全業種平均は0.8回。以前の数値と比べる。 |
| 3 | 売上高営業利益率(%) | 高いほど良い。全産業の平均は3.9% (平成27年度実績) |
| 4 | 流動比率(%) | 流動比率が100%以上であれば、短期的な支払能力が支払義務をまかなって余りあるということで、支払余力があると推測することができる。 |
| 5 | 自己資本比率(%) | 自己資本比率は一般的に50%前後を超えているとかなり優良、20~30%くらいでもよい印象があるといわれている。中小企業の場合は15%くらいが平均とされている。 |
| 6 | 固定資産長期資本比率 | この比率は常に100%以下で、かつ、低いことが望ましい。 |